



令和3年度

学校要覧

独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

知能機械工学科



Department
of
Intelligent
Mechanical
Engineering

電気情報工学科



Department
of
Electrical
and
Computer
Engineering

GUIDE BOOK 2021

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

生物応用化学科



Department
of
Applied Chemistry
and
Biochemistry

環境都市工学科



Department
of
Civil
Engineering

CONTENTS

和歌山工業高等専門学校とは

校歌	1
沿革、校章、ロゴマーク、スクールカラー	2
校長あいさつ、高等専門学校とは	3
概要	4
3つのポリシー、和歌山高専の教育理念	5
組織等	6
学生、卒業・修了後の進路、就職・進学先	7
KOSEN TOPICS	8

学科紹介

総合教育科	9
学習の心得、カリキュラム、特色 Voice～在校生・教員の声～	
知能機械工学科	11
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
電気情報工学科	13
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
生物応用化学科	15
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	
環境都市工学科	17
修得する能力、カリキュラム、特色 Voice～卒業生の声～	

専攻科	19
メカトロニクス工学専攻	
エコシステム工学専攻	
各専攻のカリキュラム・特色 Voice～修了生の声～	

学校生活

クラブ活動・学生会・国際交流	21
学生寮(柑紀寮)	22
研究活動・地域との連携	23
メディアセンター・ものづくりセンター	24
学年暦・学校行事	25

施設案内

校舎配置図	27
施設・支援	28

データ集

教員一覧	30
教育課程	31
学生の詳細情報	33
進路	35
外部資金等受入・協定等の締結	39
学生・教職員の主な受賞一覧	40
会計	41



沿革

1964(昭和39年) 4月1日	機械工学科、電気工学科及び工業化学科の3学科で発足(昭和39年法律第9号、入学定員各科40名、計120名)	1988(昭和63年) 3月10日	寄宿舎6号館 竣工
1965(昭和40年) 3月29日	本館(総合教育科・管理部)(旧:本館・一般教育科・管理棟)、寄宿舎1号館、寄宿舎食堂・浴室 竣工	1989(平成元年) 3月27日	プール附属屋 竣工
1965(昭和40年) 4月12日	御坊市名田町野島77番地に本校舎を移転	1993(平成5年) 4月1日	工業化学科を物質工学科に改組(入学定員40名)
1966(昭和41年) 3月20日	寄宿舎4号館 竣工	1994(平成6年) 4月1日	土木工学科を環境都市工学科に改組(入学定員40名)
1966(昭和41年) 3月30日	本館(知能機械工学科)(旧:本館・機械工学科棟)、本館(生物応用化学科)(旧:本館・工業化学科棟)、ものづくりセンター(旧:実習工場)、第1体育館 竣工	1994(平成6年) 12月20日	地域共同テクノセンター(旧:総合技術教育研究センター) 竣工
1966(昭和41年) 12月1日	本館(電気情報工学科)(旧:本館・電気工学科棟)、寄宿舎5号館 竣工	1995(平成7年) 4月1日	総合技術教育研究センターを設置
1967(昭和42年) 3月25日	課外活動施設(旧:合宿施設) 竣工	2002(平成14年) 4月1日	専攻科(メカトロニクス工学専攻、エコシステム工学専攻)を設置(各定員8名、修業年限2年)
1968(昭和43年) 3月22日	寄宿舎2号館、寄宿舎7号館(旧:寄宿舎管理棟・女子寮) 竣工	2003(平成15年) 4月1日	総合技術教育研究センターを地域共同テクノセンターに改称
1969(昭和44年) 3月26日	武道場 竣工	2004(平成16年) 2月27日	専攻科棟 竣工
1969(昭和44年) 4月1日	土木工学科を設置(入学定員40名)	2004(平成16年) 4月1日	独立行政法人国立高等専門学校機構が設立同機構が設置する国立高等専門学校に移行電気工学科を電気情報工学科に改組(入学定員40名)
1970(昭和45年) 3月23日	環境都市工学科棟(旧:土木工学科)、寄宿舎3号館 竣工	2008(平成20年) 5月19日	ロボット教育センター 設置
1972(昭和47年) 12月2日	メディアセンター(旧:図書館)竣工	2009(平成21年) 4月1日	機械工学科を知能機械工学科に改組(入学定員40名)
1975(昭和50年) 3月28日	情報処理教育センター 竣工	2014(平成26年) 7月3日	寄宿舎8号館 竣工
1980(昭和55年) 3月29日	第2体育館 竣工	2017(平成29年) 4月1日	物質工学科を生物応用化学科に改組(入学定員40名)
1982(昭和57年) 3月25日	普通教室棟、弓道場 竣工	2021(令和3年) 6月28日	寄宿舎7号館 竣工
1983(昭和58年) 3月14日	福利センター・国際交流会館(旧:福利センター) 竣工		

校章



本校の校章は、和歌山の“W”と“山”の2字を併せて型取った台の上に、“高専”の2字を乗せ、それを左右から和歌山が名産地である蜜柑の木の若枝で抱きかかえたデザインです。また、その背景には本校のスクールカラーである紺碧色を配色しています。

スクールカラー

DIC-N888
系統色名 こい青

本校のスクールカラーは、大日本インキ化学工業株式会社が提供するカラーガイドシリーズのN-888番です。この色は、深みのある濃い青色で本校からのぞむ太平洋の海の色を表現するとともに日本の伝統色で「紺碧(こんぺき)」と呼ばれます。

ロゴマーク



本校のロゴマークは、平成28年に公募し、知能機械工学科学生(平成28年度本校入学)のデザイン案を採用しました。

ロゴマークにこめられた思いについて

●未来へ羽ばたく「蝶」

この高専を卒業した学生は、「蝶」のように社会という大きな空に飛び立ち、たくさんの人々に笑顔を与えます。

●工業高専のイメージでもある「三角定規」

高専の全学科共通のイメージとなるツールとして「三角定規」に着目しました。「三角定規」をデザインすることにより「工業高専」である本校の特徴をスマートに伝えようとした。

●東にそびえる「山」、西に広がる「海」

周りが自然で満ちあふれている素晴らしい環境の本校「山」にも「海」にも恵まれている様子を、それぞれ緑と青というカラーリングで表しました。

●WAKAYAMAの「W」

和歌山高専の英語表記の頭文字としての「W」のイメージを、ロゴマークの形状で表現することにより、他の高専との差別化、区別化を明確にしました。「W」といえば和歌山だとすぐに分かってもらえる狙いがあります。また、校章にも“W”の文字が使われており、連動する意味も持たせます。

校長あいさつ



校長
北風 幸一

和歌山工業高等専門学校は、1964年(東海道新幹線開業、東京オリンピック開催)に和歌山県の中南部にある御坊市に設立され、2019年に55周年を迎えた歴史ある工学技術者(エンジニア)を育成する学校です。これまでに7,700人以上の卒業生、修了生が産業を支える技術者として採用され、高い評価を得ています。多くの先輩方は企業で中心的な存在として活躍しており、グローバル化の進展に伴い海外で活躍する卒業生も出てきています。和歌山高専は、産業界の期待を反映した高い求人倍率のもと、就職希望者のほぼ全員の就職を実現するだけでなく、工学の技術を更に深めるために大学や専攻科へ進学できる道も開いており、国公立の大学に進学する者も少なくありません。

これを可能としているのが、日本独自のユニークな高専教育システムです。その大きな特徴は、理工系に興味がある中学校の卒業生を対象とした5年間の一貫教育と早めの専門教育により、優れた技術者として社会に送り出すとともに、大学等での専門的な学術研究につながる基盤的な素養を培うことにあります。

本校は国立高等専門学校機構に属しており、その本部から「ものづくり教育」という観点で高い評価を受けています。実際の製品開発や生産現場での経験豊富な教員も多く、多様かつ優れた教育研究力を有する教員により実践的な技術教育が行われていることがその大きな理由です。テレビで放映される全国高専ロボットコンテストの常連校であるだけでなく、次世代を担う子供たち(小中学生)にロボットを通してものづくりの楽しさを伝える「きのくにロボットフェスティバル」の開催にも、中心的な役割を果たしております。

また、和歌山県中南部地域で唯一の国立の高等教育機関であることから、地域に貢献する高専として産官学技術交流会を立ち上げ、技術相談や共同研究を活発に行い、地域の期待に応える活動を長年推進してきました。この経験が技術者教育に生かされ、本校が目指す人材育成に強く貢献していると自負しております。

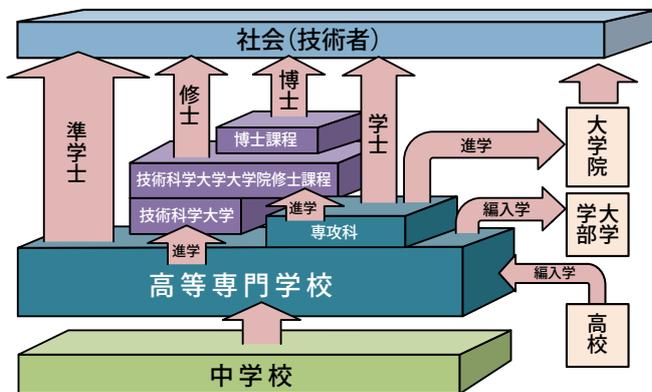
本校には、留学生や女子学生が生き生きと勉学できる環境も整えられています。グローバル化や男女共同参画に対応した環境の整備を、今後も強力に推進していきたいと考えています。

最後に、保護者の方々や後援会、同窓会、関係者の皆様の日頃からのご支援に心から感謝申し上げますとともに、今後も本校の発展により一層ご支援くださいますようお願い申し上げます。

高等専門学校とは

5年間の一貫教育により、すぐれた技術者を育成

高等専門学校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する」ことを目的として設置された、中学校卒業程度を入学資格とする高等教育機関です。豊かな教養と専門の工学とを身につけた技術者の育成を使命として、中学校卒業段階という早期からの5年一貫の体験重視型の専門教育を特色とし、応用力に富んだ実践的・創造的技術者の育成を行います。



和歌山高専の特色ある教育

技術者教育は、「ものづくりの教育」です。技術者は基本的な原理や理論を理解するとともに、実際に手を動かしたり、触れたりする体験によりスキルを身につけることも必要です。本校では、実験・実習を重視したカリキュラムによりものづくりに必要なセンスを養います。本校が展開する技術者教育の特色は次の通りです。

- 実験実習の重視
- 基礎教育と専門科目の連携
- インターンシップによる職業体験
- 国際性を備えた人間性豊かなエンジニアの育成
- 大規模寮を利用した全人教育

海外との交流

「国際性を備えた人材の育成」を図る施策の一つとして、上海電機学院（中華人民共和国）との交流を行っています。2002年に交流協定を締結、2004年より学生交流が始まり、年1回、10数名の学生が、約2週間の相互訪問を行っています。2011年3月にこれまでの協定を発展させ、相互の学校において正規課程修了のための修学が可能となる新たな協定を締結し、本格的な相互留学ができるようになりました。また、国際的に開かれた学園を目指すために、2010年春には国際交流会館を設置しました。さらに、2016年8月にアトマジャヤ大学（インドネシア共和国）、2016年9月にはスラバヤ工科大学（インドネシア共和国）、2017年9月にはボゴール農科大学（インドネシア共和国）と学術交流協定を締結しました。



上海電機学院の短期留学生と本校学生の交流(京都)

グローバル化に対応する学生の留学支援では、文部科学省と(独)日本学生支援機構が実施している「官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム～」を利用して毎年数名の学生が短期留学をしています。また、2021年5月現在、4ヶ国11名の留学生在籍し、日本人学生とともに卒業をめざして学んでいます。

大学等との交流(推薦入試制度等)

専攻科には、早稲田大学大学院情報生産システム研究科、北陸先端科学技術大学院大学等への大学院推薦入試制度があります。また、2006年3月に大阪大学工学部／大学院工学研究科と、2007年10月に大阪大学基礎工学部／大学院基礎工学研究科と、2007年3月に京都大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流協定を結び、2015年3月には和歌山大学システム工学部と編入学生のための単位互換に関する協定を結び、大学との緊密な交流を推進しています。

さらに、2007年11月には和歌山県教育委員会と連携協力包括協定を結び、県内の工業教育の充実を、2018年3月には鳥羽商船高専と包括連携協定を結び、防災に関する相互協力や特に海洋面での教育及び学術研究交流を推進しています。

地域への貢献

和歌山県中南部地域で唯一の高等教育機関として地域の発展に貢献しています。御坊地域において和歌山高専産官学技術交流会への参加・支援を行っています。また、紀陽銀行との包括協定により、学生と県内企業との交流の機会を提供するために「産業勉強会」を開催しています。

さらに、「和高専フェア」をはじめ小中学生向けの数多くの公開講座、出前授業などを学生の協力を得て開催するとともに「きのくにロボットフェスティバル」の実行委員会のメンバーとして毎年開催に協力しています。



和高専フェア(県立わかやま館)



きのくにロボットフェスティバル2019(御坊市立体育館)

3つのポリシー

○3つのポリシー

本科ディプロマ・ポリシー(卒業認定に関する方針)

「教育理念」に基づき、5年間の一貫教育を通じて、エンジニアとしての素養を身につける基礎教育と、実践を重視した専門教育を効果的に学び、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と問題解決能力を身につけ、豊かな人間性と国際性を備え、環境と地域連携を考慮できる学生に対して卒業を認定します。

本科カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

上記ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、(1)一般科目、(2)専門科目を体系的に編成した講義のほか、(3)実践的科目の演習・実験・実習等を有機的に関連させた特色のある授業科目、(4)キャリアデザイン系科目を開設します。各学科とも、授業科目に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとするが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。なお、授業科目の成績評価は100点満点及び可否で行い、合・優・良・可を合格、否・不可を不合格とし、合格の場合は単位を認定します。

本科アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、次のような適性と能力を持った人を、体験実習入試においては調査書、体験実習、面接、志望理由書及び活動報告書、学校長推薦入試においては調査書、面接、小論文、推薦書、志望理由書及び活動報告書、学力検査入試においては学力検査及び調査書、帰国生徒特別選抜入試においては学力検査及び面接、調査書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

本科(編入学)アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

講義のほかに実験・実習に重点をおいた教育を行い、高度な知識と技術を身につけ、新しい時代に対応した創造力に富み、人間性豊かで、国際社会にも貢献できるエンジニア育成のための教育・指導を行っています。

この理念のもと、次のような適性と能力を持った人を、調査書、面接、志望理由書、推薦書により確認し、受け入れます。

- ・基礎学力に基づき、自らの考えを文書や口頭で説明・理解させることができる人
- ・科学技術に興味を持ち、志望する学科の専門知識と技術を修得したい人
- ・自ら積極的に行動し、充実した高専生活を送りたい人
- ・将来、修得した専門知識や技術を活かした仕事に就きたい人

専攻科ディプロマ・ポリシー(修了認定に関する方針)

「教育理念」に基づき、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と課題を解決するデザイン能力を身につけ、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦する豊かな人間性と国際性を備えた学生に対して修了を認定します。

専攻科カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

上記ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するため、(1)一般科目、(2)専門科目を体系的に編成した講義のほか、(3)実践的科目の演習・実験・実習等を有機的に関連させた特色のある授業科目を開設します。また、各専攻とも、授業科目に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものですが、科目等によっては、レポート等の評価結果により認定します。なお、授業科目の成績評価は100点満点で行い、A・B・Cを合格とし、合格の場合は単位を認定します。

専攻科アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

専攻科(メカトロニクス工学専攻・エコシステム工学専攻)では、次のような適性と能力を持った人を、推薦による選抜においては調査書、志望理由書、推薦書及び該当者のみ面接、学力による選抜においては学力検査、TOEICスコア報告書、調査書、志願理由書、該当者のみ面接、社会人特別選抜においては成績証明書及び志望理由書、面接により確認し、受け入れます。

- ・幅広い専門性や論理性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい人
- ・自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい人
- ・技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている人
- ・企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える人

和歌山高専の教育理念

本校は、5年間の一貫教育を通じて、エンジニアとしての素養を身につける基礎教育と、実践を重視した専門教育を効果的に行うことにより、工学を社会の繁栄と環境との調和に生かすための創造力と問題解決能力を身につけ、豊かな人間性と国際性を備えた人材の育成を目指します。

とりわけ自然環境に恵まれた和歌山県中南部に位置する本校は、地域社会の特色を生かしつつ、地球環境に配慮した新技術の開発に貢献することにより、新たな課題に挑戦します。

こうした環境と地域連携を考慮した教育・研究活動が、国際社会へもアピールできるよう努力を重ねます。

組織等

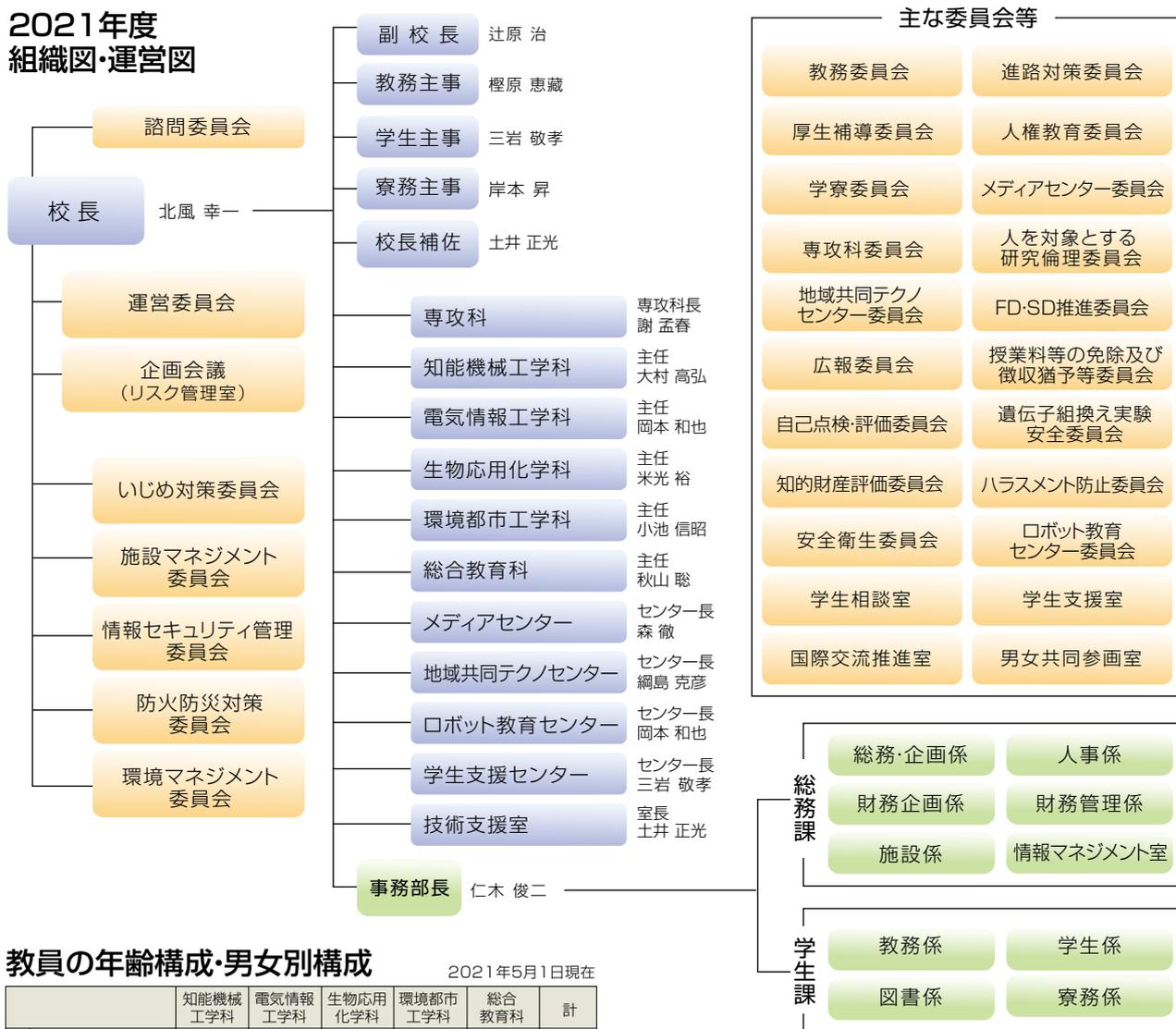
歴代校長

	氏名等
初代	澤井 八洲男
2代	工学博士 近藤 繁人
3代	工学博士 市原 松平
4代	工学博士 阿河 利男
5代	工学博士 岡本 平
6代	理学博士 興地 斐男
7代	山本 博
8代	葦澤 弘志
9代	堀江 振一郎
10代	理学博士 角田 範義
11代	北風 幸一

名誉教授

氏名等		氏名等		氏名等	
玉置 邦太郎	工学博士	尼田 正男	工学博士	大久保 俊治	工学博士
岡本 平	工学博士	佐々木 清一	工学博士	森川 寿	博士(英語学)
山岸 昭英		高木 浩一	工学博士	溝川 辰巳	工学博士
宮原 一典	工学博士	富上 健次郎		堀江 振一郎	
橋口 清人	工学博士	小川 一志	工学博士	西本 圭吾	博士(工学)
吉川 壽洋	工学博士	葦澤 弘志	工学博士	中本 純次	博士(工学)
原 敏晴	博士(工学)	藤原 昭文	工学博士	林 純二郎	博士(工学)
興地 斐男	理学博士	坂田 光雄		後藤 多栄子	
田縁 正幸	博士(工学)	渡邊 仁志夫	理学博士	角田 範義	理学博士
谷口 邁	博士(工学)	久保井 利達	博士(工学)	山口 利幸	博士(工学)
溝口 幸美	博士(工学)	福田 匡	博士(工学)	野村 英作	博士(工学)
西芝 茂樹	工学博士	徳田 将敏	博士(工学)	霧巻 峰夫	博士(工学)
猪飼 健夫	博士(工学)	藤本 晶			
	医学博士	山川 文徳			

2021年度 組織図・運営図



教員の年齢構成・男女別構成

2021年5月1日現在

		知能機械工学科	電気情報工学科	生物応用化学科	環境都市工学科	総合教育科	計
年齢別	60歳以上63歳以下	2	2	1	1	6	12
	55歳以上60歳未満	1	0	2	0	6	9
	50歳以上55歳未満	0	3	2	2	2	9
	45歳以上50歳未満	1	1	2	2	2	8
	40歳以上45歳未満	2	0	3	2	1	8
	35歳以上40歳未満	1	2	1	1	3	8
	30歳以上35歳未満	2	1	0	1	1	5
30歳未満	0	0	1	0	0	1	
男女別	計	8	8	11	9	19	55
	男	8	8	11	9	19	55
	女	1	1	1	0	2	5

※生物応用化学科には特命助教1名含む
(年齢は年度末年齢)

教職員数

2021年5月1日現在

区分	校長	教授	准教授	講師	助教	特命助教	教員計	常勤職員	教職員計
現員	1	26	26	0	7	1	61	41	102
実行人員枠	1	26	27	0	7		61	41	102

※教員のうち47人が博士号取得
※()は常勤の非常勤職員で外数

学 生

令和3年5月1日現在()内は女子数

各学科定員及び現員

学科名	学年定員	1年	2年	3年	4年	5年	現員合計
知能機械工学科	40	41(3)	39(4)	41(5)	42(7)	43(3)	206(22)
電気情報工学科	40	42(5)	41(7)	43(6)	46(5)	36(6)	208(29)
生物応用化学科	40	41(18)	42(19)	37(14)	44(18)	36(14)	200(83)
環境都市工学科	40	41(9)	42(11)	40(7)	43(9)	37(10)	203(46)
計	200	165(35)	164(41)	161(32)	175(39)	152(33)	817(180)

専攻科定員及び現員

専攻	学年定員	1年	2年	現員合計
メカトロニクス工学専攻	8	18(1)	14(0)	32(1)
エコシステム工学専攻	8	14(5)	16(7)	30(12)
計	16	32(6)	30(7)	62(13)

卒業・修了後の進路 大学等への進学49名!大学院入学7名!

令和3年5月1日現在

項目 学科	卒業者数			就 職						進学者数			その他 (自営を含む)		
				就職希望者数			就職者数								
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
知能機械工学科	35	32	3	20	18	2	20	18	2	13	12	1	2	2	0
電気情報工学科	42	37	5	24	20	4	24	20	4	16	15	1	2	2	0
物質工学科	40	24	16	24	14	10	24	14	10	16	10	6	0	0	0
環境都市工学科	39	30	9	34	27	7	34	27	7	4	3	1	1	0	1
計	156	123	33	102	79	23	102	79	23	49	40	9	5	4	1

※1 休学者は含まない

※2 大学1年次・専門学校等入学はその他に含む

項目 専攻	卒業者数			就 職						進学者数			その他 (自営を含む)		
				就職希望者数			就職者数								
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
メカトロニクス工学専攻	10	10	0	7	7	0	7	7	0	3	3	0	0	0	0
エコシステム工学専攻	12	9	3	8	6	2	8	6	2	4	3	1	0	0	0
計	22	19	3	15	13	2	15	13	2	7	6	1	0	0	0

令和2年度本科就職先

企業

(株)IHIインフラ建設、旭化成(株)、(株)朝日ビルディング、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・ネオメイト、(株)NTTフィールドテクノ、ENEOS(株)、(株)MBM、大阪ガス(株)、花王(株)、関西エアポートテクニカルサービス(株)、関西電力(株)、キヤノン(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、極東興和(株)、近畿日本鉄道(株)、(株)近計システム、クオリティソフト(株)、(株)クボタ、(株)鴻池組、向洋電機(株)、小西化学工業(株)、五洋建設(株)、サントリースピリッツ(株)、サントリープロダクツ(株)、三洋化成工業(株)、(株)CTIウイング、ジェアール東海コンサルタンツ(株)、JFEシビル(株)、(株)島精機製作所、ショーボンド建設(株)、スガイ化学工業(株)、住友精化(株)、住友電気工業(株)、ダイキンエアテクノ(株)、ダイキン工業(株)、大成建設(株)、(株)竹中土木、中外製薬工業(株)、築野食品工業(株)、テルモ(株)、電源開発(株)、東海旅客鉄道(株)、東急電鉄(株)、東京ガス(株)、東京都下水道サービス(株)、東レ(株)、西日本旅客鉄道(株)、日鉄スラグ製品(株)、日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)、(株)日本化学工業所、日本空港テクノ(株)、日本ペイントホールディングス(株)、バルトソフトウェア(株)、阪神高速技術(株)、東日本旅客鉄道(株)、ファナック(株)、不二製油(株)、富士通(株)、富士電機(株)、富士フィルム和光純薬(株)、マルホ(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機システムサービス(株)、ミナベ化工(株)、(株)村田製作所、メビウスパッケージング(株)、森永乳業(株)、山崎製パン(株)、山本化学工業(株)、雪印メグミルク(株)、ユニチカ(株)、(株)LIXIL、(株)Link-U(五十音順)

官公庁等

国土交通省、和歌山県、大阪市、海南市、御坊市、田辺市、(一社)近畿建設協会、(独)国立高等専門学校機構

令和2年度本科進学先

和歌山高専専攻科、宇都宮大学、群馬大学、筑波大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、広島大学、九州大学、九州工業大学

令和2年度専攻科就職先

企業

大阪油化工業(株)、(株)奥村組、花王(株)、キリンビール(株)、星光PMC(株)、太洋工業(株)、パナソニック(株)アプライアンス社、阪神高速技術(株)、深江化成(株)、三菱電機(株)冷熱システム製作所、森永乳業(株)、(株)Link-U(五十音順)

官公庁等

和歌山県、海南市、(一財)雑賀技術研究所

令和2年度専攻科進学先

長岡技術科学大学大学院、東京大学大学院、大阪大学大学院、和歌山大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、岡山県立大学大学院

学生の活躍

研究発表、コンテストへの参加、クラブなどの活動に多くの成果をあげています。2020年度における主な活躍は下記のとおりです。



マリンチャレンジプログラム2020 関西大会で優秀賞を受賞

2020年8月にオンラインで開催されたマリンチャレンジプログラム2020関西大会((公財)日本財団等主催)で、サイエンス同好会の研究チームの7名が、「天然物に含まれるジャンボタニシの誘引・忌避物質の探索および特定」について研究発表し、優秀賞を受賞しました。



第23回化学工学会学生発表会で優秀賞を受賞

2021年3月にオンラインで開催された第23回化学工学会研究発表会で物質工学科5年の和田一真君が「マイクロ波加熱による廃ミカン果皮由来活性炭の調製」について発表し、優秀賞を受賞しました。



令和2年度社会実装教育 フォーラムで社会実験賞を受賞

2021年3月に東京高専がオンラインで開催した令和2年度社会実装教育フォーラムで、専攻科メカトロニクス工学専攻2年の永廣拓也君、知能機械工学科5年の大江悠登君らが「児童の体験活動のためのプログラミング講座用コンテンツの開発」について発表し、社会実験賞を受賞しました。



生物応用化学科の学生が研究助成に採択と受賞

生物応用化学科1年の儀間瑞季さんらの研究グループによる「キュービエ器官を含むバイオセメントを用いた沖縄丸ごと海洋生物系修復の挑戦」が東熱科学技術奨学財団助成プロジェクトに採択され、奨励賞を受賞しました。また、物質工学科5年の溝口裕太君が「紀南地域での地酒開発に向けたクマノザクラ酵母の単離」について南紀熊野ジオパーク学術研究・調査活動助成に採択されました。



和歌山おもしろ科学大賞動画 コンテストで金賞受賞

コロナ禍で部の活動が制限される中、青少年のための科学の祭典・和歌山大会2020「和歌山おもしろ科学大賞」動画コンテストで、バレーボール部が「ストップウォッチをつくらう!」の動画で金賞を受賞しました。



第1回インフラマネジメントテクノロジー コンテストで企業賞を受賞

第1回インフラマネジメントテクノロジーコンテストで、環境都市工学科1年の塩崎奏聡君と児島歩高君のチーム「しおたか」の作品「南紀白浜空港を救いたい」が「企業賞(南紀白浜エアポート賞)」を受賞しました。

総合教育科 Faculty of Liberal Arts

総合教育科は、4学科共通の基礎教育科目である数学、理科、国語、社会、外国語、体育、芸術などで構成され、全学科の学生が学びます。

高度な専門教育をより確実により深く学ぶための準備段階として、言語、論理、感性、社会、健康に関する授業カリキュラムが編成されています。

総合教育科 学習の心得

- 1 「論理的思考を楽しむ」 自由な視野のもとで事物の本質を論理的に考え、ときには前提となる基盤さえも柔軟に更新するほどの論理的思考を楽しむ。
- 2 「驚きとともに学ぶ」 共感をもって人と自然から謙虚に学び、驚きとともに問題を発見する行為を通じて、学ぼうとする自己を新鮮に保つ。
- 3 「他者を知って助けあう」 心身を健やかに保ち、折り目正しく、物怖じせず、礼を重んじることで、ともに助けあえる協力関係を作る。



数学

技術者には物事を数学的に深く理解する力が求められます。高専では、このような数学の利用を想定して、学習の内容や順番が決まっています。



理科

高専における理科は、専門工学の基礎となる物理・化学の学習が中心ですが、地球環境に対する理解を深めるため、生物・地球科学も学習します。



国語

技術者にとって欠くことのできない、生産的な言語コミュニケーション能力の獲得を目的として、情報の受信から発信に至る日本語能力を、論理的思考・言語的感性の両面にわたって育成します。



社会

社会の歴史・現在を様々な角度から考察し、社会の分析・考察する能力を高め、科学技術が現代社会にとって持つ意味を多角的に捉えます。



英語

技術者に要求される実践的コミュニケーションに対応するため、「英語で積極的かつ能率的に情報を受信・発信できる能力」を養います。



体育

保健・体育、芸術を通じて、心身の健康を培い、論理的思考はもちろんのこと、社会人として、あるいは人間として必要な、豊かな感性と表現力を養います。

|| 総合教育科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年
数学				
物理				
化学				
総合理科				
国語				
		思考と表現		
世界史	日本史	政治・経済	日本経済論	地域と文化
環境と社会	現在の世界	倫理		
	わかやま学			
英語総合			英語	
英語表現	英会話	英文法	第2外国語	
保健・体育				
芸術				

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

「一寸先は光」という「諺」があります。若く健やかで順風満帆の人生のなか、突然に苦難が人を襲う。自分の身に、あるいは大切な人の身にそのようなことがあるとき、私たちはそれを「一寸先は闇」と言います。嘆きの谷に生きる人間の運命を、日本語の諺はそうのように言うのが常なのですが、『それゆけ!アンパンマン』の作者やなせたかし氏は、それを「一寸先は光」と言い換えました。「生きてゆくための力」とはこのような柔軟で強靱な力です。

このように言い換えるためには、先ず私たちは元の諺を知っている必要があります。これは歴史や伝統について若い君たちが学ぶべきことです。また言葉の能力を鍛える必要があります。更に君たちは、広い宇宙の地球のうえの物理学的・化学的諸条件のなかで、私たち人間が、ウイルスをも含めた共通の基本的特徴をもった「生物」として生きていることの不思議と運命とを知る必要があります。数学、理科、国語、社会、外国語、保健体育そして芸術などの授業を通じて「生きてゆくための力」の準備をすることが、総合教育科の教育の本質なのです。

Voice ～ 在校生、教員の声 ～

菅浦 夏輝さん 生物応用化学科2年生



入学当初、コロナ禍で登校出来ませんでしたが、いち早くリモート授業を取り入れ、分かりやすい授業を行って頂きました。おかげで登校開始後は個性的でユーモア溢れるクラスメイトや先生方と一緒に楽しく勉強やグループワークが出来ています。1年生で基礎知識が身につく、2年生以降で習う専門教科への準備が出来ました。クラブ活動にも十分時間を取れて、自分らしい学校生活を送っています。

総合教育科 平山 規義 教授(英語仏語学・文学)



文系理系を問わず、研究活動の手がかりとして様々な事象の中に共通点、類似点に目を向け仮説を立てることがよくあります。いわゆる類推的思考(アナロジー)です。遠く離れた分野のものとの間に思わぬ結びつきが見出され、豊かな成果が生み出されてきたのは事実ですが、「類推の魔」の民に捕らわれないように複眼的視点を持つ事も大切です。敢えて反対の立場の考えにも耳を傾けましょう。世界がまた違って見えてきますよ。

知能機械工学科では、幅広い産業における機器やシステムの設計、開発、研究、保守、操業等の業務において、創造的かつ主体的に取り組むための基礎技術や制御・知能化技術を含めた総合力を身につけ、日々進歩する科学技術を推進できる基本的学識と知的好奇心を備えた技術者を育成します。

知能機械工学科で修得する能力

- 機械工学分野をコアとした幅広い知識・技術を活用し、積極的に課題解決ができる能力。
- 地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力。
- 得られた学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解、分析する論理的な能力。
- 国際感覚を備えたコミュニケーション基礎力、プレゼンテーション能力。



工作実習



流体力学実験



ロボット創作実習



金属材料試験



情報制御実験



設計工作実験

|| 知能機械工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
	工業力学	材料力学		振動工学	
		材料学		材料強度学	
		熱力学	工業熱力学		
		水力学	流体力学	流体工学	
	機構学	機械工作法	機械設計法	機械システム工学	
	機械設計製図			メカトロ設計	
工作実習		ロボット創作実習	計測工学	自動制御	
コンピューター入門		情報処理		情報工学	
		電子制御			
			機械工学実験	工業外国語	
		応用物理	応用数学		

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

ロボットやIoTの技術革新は著しく、これらの技術に精通した機械技術者の育成が求められています。知能機械工学科では、ロボット創作実習などを通じ、従来の機械工学である材料・熱・流体・機械力学分野から情報・制御分野までの専門知識と技能を習得します。さらに、これらの専門知識を身につけた上で、自らが計画・実行・検証する卒業研究に取り組みます。



ロボット創作実習



卒業研究発表

Voice ～ 卒業生の声 ～

大江 悠登さん 令和2年度卒業



工作実習やロボット創作実習など特徴的な授業があり、実際の「ものづくり」を体験できます。プレゼン、レポートなどで実践的な能力も鍛えられます。勉強や進路に不安があれば先生や先輩が丁寧にサポートしてくれます。特に就職活動では工場見学、インターンシップ、説明会など企業を知る機会が多くあり、自分の将来像を具体的にイメージしながら活動でき、第一希望の鉄道会社から内定を頂きました。

林 明音さん 平成20年度卒業



私は小松製作所 開発本部でトランスミッションの開発を行なっています。過酷な環境で使用され、社会インフラに欠かせない製品の開発はとてもやり甲斐があります。高専の魅力は実習・実験科目が充実している所だと思います。ここで身に付けた「ものづくりの感覚」や、その後の専攻科や大学院で研究活動に専念した経験は、今の仕事はもちろん、生活面でも様々な所で活かされています。

電気情報工学科では、豊かな生活を支え、社会、産業の発展に大きく寄与している電気・電子・情報・通信などの基礎技術を身につけ、日々進歩し続ける電気情報技術に柔軟に対応できる課題発見と解決の能力を備えた技術者を育成します。

電気情報工学科で修得する能力

- 電気工学及び情報工学分野をコアとした幅広い知識・技術を活用し、積極的に課題解決ができる能力。
- 地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力。
- 得られた学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解、分析する論理的能力。
- 国際感覚を備えたコミュニケーション基礎力、プレゼンテーション能力。



実験(ひずみ波の周波数解析)



実験(電気工事士実習)



実験(直流機)



実験(ラズベリーパイによるPythonプログラミング)



授業(C言語プログラミング)

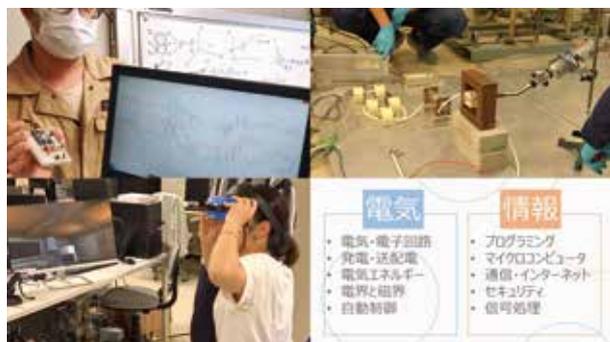


授業(電気回路)

電気情報工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
コンピューター入門	アーキテクチャ	応用物理	インターンシップ		
	プログラミング・アルゴリズム		システム設計	情報セキュリティ	
	マイクロコンピュータ		情報通信		
	電気回路		回路網理論	自動制御	
		電子計測	発電電・送配電		
		電気機器	電気材料	高電圧工学	
			電子工学	電気法規	
		電子回路		電気設計	
		電気磁気学			
電気情報工学実験					

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～



電気情報工学科では、電気・電子・情報系分野の講義や実験を通して、人類の未来を切り拓くことのできる人材育成を行っています。そのため、最新テクノロジーを積極的に実験や実習に取り入れています。例を挙げると、人工知能(AI)・仮想現実(VR)・IoTといった最新のIT技術について、講義以外にも卒業研究として学生にも取り組んでもらっています。令和2年度は、コロナ禍のために本校に来校してもらえない受験生のために、電気情報工学科の現役学生が、身につけたプレゼンテーション能力や学習スキルを活かして学科紹介動画を自前で作成し、動画配信サイトに掲載して情報発信を行いました。

Voice ～ 卒業生の声 ～

井上 真里奈さん 令和元年度卒業



私が所属する電子部では、監視カメラやビデオ会議システム、デジタルサイネージといったシステムを官公庁や企業向けに納入・設置しております。システムをお客様の要望に合わせて設計、提案し、設置、保守、修理までをワンストップで行います。現在、私は先輩に同行し様々な業務、製品の専門知識を学んでいますが、特異なものも多くまだ知識は浅いですが、何もないところからシステムを作り上げていく所に魅力を感じております。

高尾 日向さん 令和元年度卒業



関西電力送配電株式会社は、発電所で発電された電気をご家庭や工場に送り届けたり、それに係る設備の点検・補修などを行っています。私の所属する電力所(変電)では、主に変圧器や遮断器などの変電設備の運用・点検・補修を行っており、電気の安定供給を維持するために日々業務にあたっています。大きな責任の伴う仕事ですが、お客さまへの電力供給の一端を担っているという強いやりがいを感じています。

生物応用化学科では、物質の分析・合成・分離に関する化学的知識・技術、ならびに、生物のタンパク質や遺伝子に関する工学的知識・技術を身につけ、自ら課題・問題を発見し、地球環境保全を十分考慮しながら、それらに柔軟に対応して解決できる能力を備えた技術者を育成します。4年生からは「応用化学コース」と「生物化学コース」に分かれ、より専門的な学習をします。

生物応用化学科で修得する能力

- 応用化学および生物工学分野に関する幅広い知識・技術を活用し、社会が問題とする課題に対して、積極的に解決できる能力。
- 地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全・利益に配慮したものづくりの考え方ができる能力。
- 習得した専門的知識や技術を駆使し、諸問題を的確に理解・分析する論理的な能力。
- 国際感覚を備えたコミュニケーション基礎力・プレゼンテーション能力。



1年生 生物応用化学実験I



2年生 生物応用化学実験II



3年生 生物応用化学実験Ⅲ(自由課題テーマ)



4年生 企業インターンシップ



4年生 高専祭ガラス細工



5年生 卒業研究発表会

生物応用化学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
化学		情報処理	インターンシップ	地域イノベーション工学特論	
	有機化学		高分子化学	合成化学	
		無機化学		先端工学概論	
生物応用化学入門	分析化学		機器分析		
		物理化学		反応工学	
		化学工学			
	生物	生命科学	生物化学	生物資源科学	
			分子生物学		
			発酵科学	食品工学	
生物応用化学実験Ⅰ	生物応用化学実験Ⅱ	生物応用化学実験Ⅲ	生物応用化学実験Ⅳ	工学ゼミナール	

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～

低学年のうちから教員の指導の下で研究活動を行い、研究成果を色々な学会で発表し表彰されています。また、自主的に実験を考えて工夫し、様々なイベントや公開講座で子供や地域の方々に指導しています。



学会での受賞



イベントへの参加



公開講座での説明

Voice ～ 卒業生の声 ～

沼 優さん 平成28年度卒業



高専では専門的でリアルな知識を学ぶことができたと感じています。総合化学メーカーで研究職をしている今、学んだ知識や技術が業務で活かされる場があり、必死にテスト勉強を頑張った甲斐があったなと思います。また技術系の職場には他高専の先輩方もいて、高専卒というコミュニティの安心感があります。他の学校とは違った少し特殊な「高専」ですが、それが面白く自分に合っていたと感じています。

谷口 京介さん 令和元年度卒業



私は現在、化学メーカーで合成樹脂の製造や技術に関する仕事に携わっています。業務では、高専時代に専門的に学んでいた分野とは異なることに取り組んでおり、日々勉強している最中ですが、高専で学んだ基礎知識や考え方、物事に取り組む姿勢などは今でも活かせる場面が多いと感じています。高専での経験は将来役立つ貴重なものになると思います。

環境都市工学科では、地震や津波に対する防災技術、地球温暖化問題に対する環境保全、自然との共生をはかる環境マネジメント技術、機能的で快適な街をつくる都市計画技術、橋梁など社会基盤の構造設計技術などを身につけ、グローバルデザイン能力に優れた技術者を育成します。

環境都市工学科で修得する能力

- 土木工学分野をコアとした幅広い知識・技術を活用し、積極的に課題解決ができる能力。
- 地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全・利益に配慮したもののづくりの考え方ができる能力。
- 得られた学問的知識を駆使し、諸問題を的確に理解・分析する論理的な能力。
- 国際感覚を備えたコミュニケーション基礎力・プレゼンテーション能力。



開水路での水理実験における計測【建設系】



鉄筋コンクリート梁の曲げ試験【建設系】



土のせん断抵抗を調べる試験【建設系】



有機物による水質汚濁の調査【環境系】



市民アンケート調査データの分析【計画系】



フィールドワークの様子【環境系】

環境都市工学科のカリキュラム

1年	2年	3年	4年	5年	卒業研究
		情報・基礎科目			
コンピューターリテラシー	基礎情報処理	情報処理	応用情報処理演習	地形情報処理学	
		応用物理	応用数学		
専門基礎		建設系			
環境都市工学通論		構造力学		構造力学特論	
防災学概論		測量学		耐震工学	
	建設材料学	コンクリート構造学		施工管理学	
		水理学		水工水理学	
			土質力学	土質力学特論	
		環境系			
	環境工学基礎	水環境工学	都市環境工学	資源循環システム学	
			上下水道工学		
			計画系		
			都市地域計画	景観工学	
			環境工学	計画数理	
			道路工学	交通システム	



その他にも、魅力的な科目は色々あるよ!

- ・海外異文化交流(留学)
- ・学外実習
- ・県内インターンシップ等...

学科の特色 ～ こんなところに力を入れています ～



コンテストがなっています(全国高専デザコン、他)



現場見学にも毎年出かけています

資格試験にも 多数合格しています

4年生から、各種の資格試験を受験して、多数合格しています。(卒業に必要な単位としても認定されます。)

〈2020年度の合格者〉

技術士1次試験 15名
2級土木施工管理技士 ... 28名
環境社会検定 43名

Voice ～ 卒業生の声 ～

森脇 佑太さん 令和元年度卒業



私は、金沢大学に3年次編入しました。大学に編入すると専門分野だけでなく様々な知識や技術が身に付き、視野が広がりました。研究活動についても、より高度な研究が行われており、修士号や博士号の取得も可能です。将来のビジョンについても、土木という分野に囚われず様々な分野の職業にチャレンジでき、将来に活躍できる場面が広がると感じています。

有井 碧さん 令和元年度卒業



私は、安部日鋼工業株式会社に就職し、PC道路橋、PCタンクの施工を管理する技術者として、大工さんや施工業者さんと一丸となって工事作業に取り組んでいます。仕事の中でモチベーションが上がるポイントは、図面に描かれた建造物が目の前でどんどん出来上がってゆく様を見た時、まるでレゴを自分で組み上げたような達成感を感じることで、竣工後も自分が作り上げたモノが何年も誰かの役に立っていることを確認できることです。

専攻科は、高専本科卒業生およびこれと同等の資格を有する社会人等を対象として、さらに深く、幅広く教育研究を行う2年制の課程です。

専攻科では、①持続可能な社会の形成に活かせる創造力、②多面的に問題を発見し、解決する能力、③豊かな人間性と国際性を備えた人材を育成します。

また、本科の4、5学年と合わせて「地域環境デザイン工学」教育プログラムを設定し、国際的に通用する技術者の育成を目指しています。本教育プログラムは(一社)日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けています。

専攻科には、メカトロニクス工学専攻とエコシステム工学専攻の2専攻があり、それぞれでこれまで行ってきた卒業研究等をさらに深く探求する特別研究を実践し、広く国内外の学会等で成果を発表しています。

また、(独)大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受けており、修了をもって大学の工学部卒業生と同じ学士(工学)の学位を取得できます。

メカトロニクス工学専攻

知能機械と電気情報の両分野が融合したメカトロニクス工学専攻では、計測制御、材料、加工・設計、信号処理・情報伝送等の知識と技術を学びます。これにより、企業等で製品や製造プロセスの設計・開発を行うことのできる技術者、または大学院でさらに高度な知識と技術を修得できる素養を持つ技術者を育成します。



ドローンへのアームの取り付け
(メカ特別研究)

エコシステム工学専攻

エコシステム工学専攻では、物質工学系および環境都市工学系学科において修得した知識と技術を基盤に、両専門分野を総合するとともに、より専門性の高い教育を行います。

また、環境問題を幅広く考慮することを重視した指導を行います。これにより、幅広い視点に立ち、人類に役立つ物質を化学やバイオ技術を駆使して創造できる能力、あるいは都市環境を形成する土木構造物や環境システムの設計・開発等を行うことができる能力、さらには、地球環境保全にも十分に対応できる能力等を備えた先端技術者を育成します。



土壌中の重金属回収システムの開発(エコ特別研究)

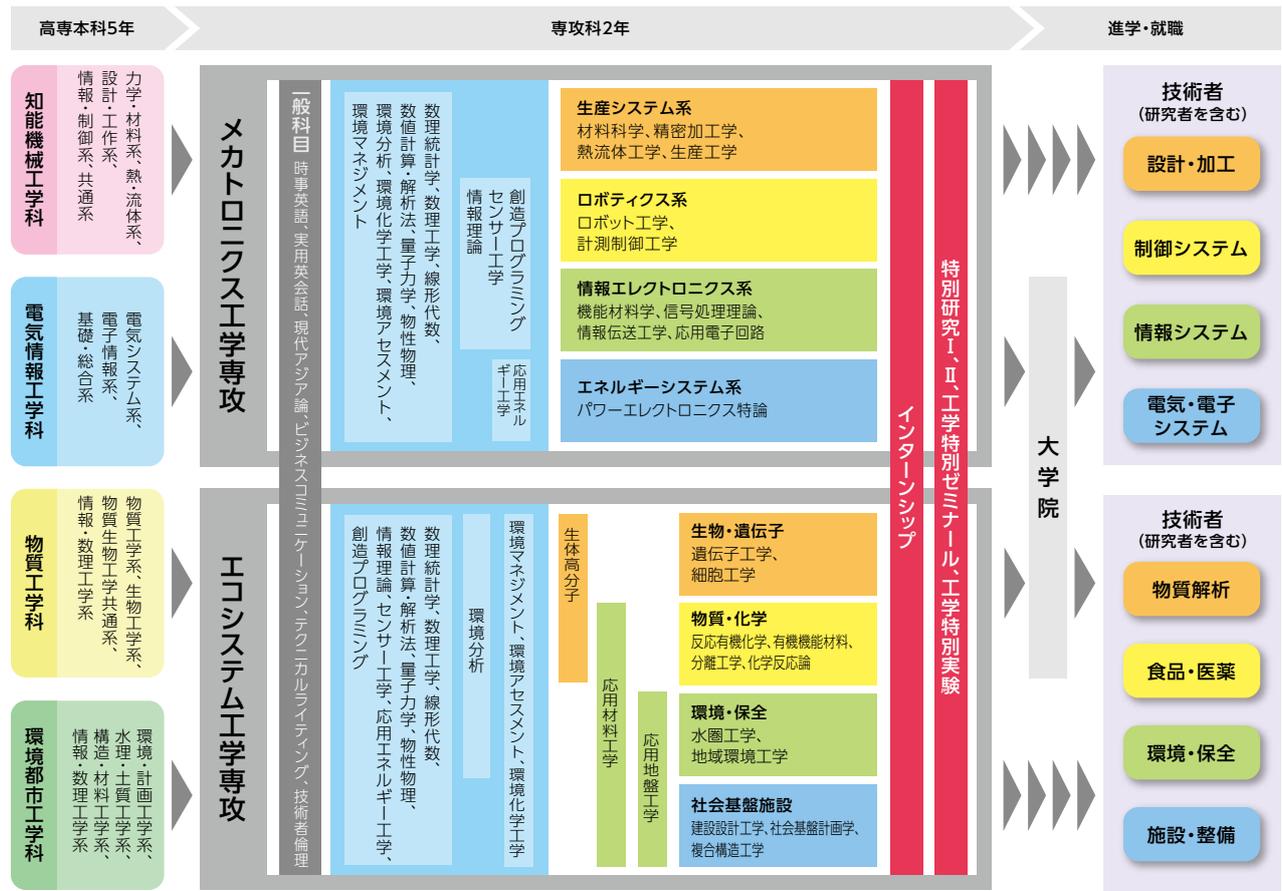


創造デザイン実験 成果発表会の様子



専攻科生の学会発表

各専攻のカリキュラム



各専攻の特色 ~ こんなところに力を入れています ~

工学特別実験のテーマ別実験部門では、出身学科の異なる学生が混じってそれぞれの専攻の専門技術に関する実験を行い、専門の幅を広げます。さらに、創造デザイン部門では専攻横断のグループを編成し、設定された課題に対して複数ある解の中から一つの解を創作するエンジニアデザインに取り組みます。令和元年度はパテントコンテストへの応募を目指して「人を笑顔にするもの」を考案し、創造的に解決することを実践的に学修しました。

インターンシップでは、企業・自治体等における就業体験や大学院における研究室体験を行っています。各専攻に関わる技術等についてより実践的に学修する機会を提供しています。

特別研究では、指導教員のもとでテーマを設定し、2年間かけて研究を実施します。研究テーマは社会のニーズや地域の諸課題等を考慮して設定できます。研究成果は国内外の学会等で大学生・大学院生に混じって発表しています。

専攻科修了後は、企業の技術者、公務員、大学院進学などの進路があり、希望の進路に進むことができるような学修内容が提供されています。

Voice ~ 修了生の声 ~

片井 涼さん 平成30年度修了



専門性の高い先生に、少数精鋭の講義、高専本科からの進学であれば、環境が変わることなく勉学に励めること、驚くべき安さの学費、といったメリットは専攻科の魅力のほんの一部に過ぎません。私は現在、通信インフラの整備に関わる仕事をしています。専攻科で学んだ事はそのまま日々の業務に活かす事が出来ています。専攻科には企業出身の先生も数多く在籍しているため、就職後の不安などを気軽に相談出来るのも大きな魅力です。

八杉 憲彰さん 令和元年度修了京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻進学



専攻科の隠れたメリットは、「大学院進学時に専攻分野を変えやすい」点だと感じています。私は化学を専攻していましたが、大学院では熱流動の研究室に所属しています。「研究を3年経験している」専攻科出身者は、専攻分野を変えても、「その分野の研究を1年していた」だけの大学出身者と比較しても研究能力は十二分だと感じています。将来の幅も広がりますし、専攻科生という尖ったキャリアを更に尖らせてみるのも面白いかもしれません。

II クラブ活動

学生は、クラブ活動を通して、高専体育大会、高専ロボコン大会、高専各種コンテスト、県高校体育連盟、県高校野球連盟等の競技大会で活躍しています。また、演奏会や公開講座などによって地域の文化向上にも貢献しています。

体育系クラブ

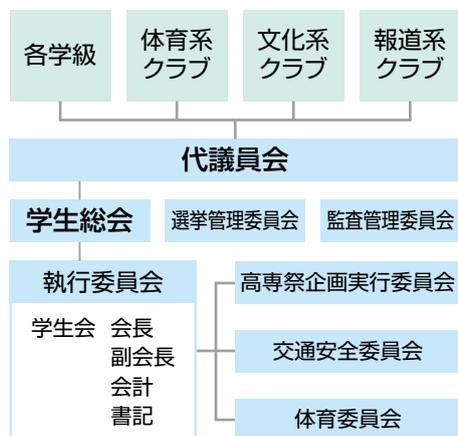
陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、フットサル部、テニス部(硬式)、ソフトテニス部、水泳部、バレーボール部(男女)、バスケットボール部(男女)、バドミントン部、卓球部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、弓道部、少林寺拳法部

文化系クラブ

ロボコン部、コンピュータ部、吹奏楽部、軽音楽部、サイエンス同好会、音楽同好会、写真同好会、総合美術同好会、ボランティアサークルアミーバ

III 学生会

本会は、学生の自発的な活動を通してその人間形成を助長することを目的に学生会員で構成されています。学生会の活動中心である執行委員会は、高専祭、体育大会などを主催するほか、近畿地区高専との交流会等を通じ、自主活動の研鑽に努めています。



R2 和歌山県高等学校ソフトテニス新人選手権大会女子団体戦で第3位入賞



R2 高校野球和歌山大会でベスト8



和歌山県高校バレーボール選手権大会で2年連続ベスト8



ボランティアサークルアミーバ(作業終了の記念写真)



高専ロボコン



体育祭 障害物競走



学生総会

学生達が参加している主なコンテスト一覧

コンテスト名
全国高等専門学校ロボットコンテスト
英語プレゼンテーションコンテスト
プログラミングコンテスト
デザインコンペティション
コンクリートカヌー競技大会
インターナショナルロボット・ハイスクール
2020「和歌山おもしろ科学大賞」投稿動画コンテスト
マリンチャレンジプログラム2020
サイエンスキャッスル2020
テクノ愛2020
第1回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト
令和2年度社会実装教育フォーラム



高専祭 吹奏楽部のステージ演奏

III 国際交流

グローバル人材育成事業を実施している本校では、2010年春に学内に国際交流会館を設置し、学校同士の交流に活用しています。2004年から学生交流を継続して実施している上海電機学院(中華人民共和国)に加え、2016年からはアトマジャヤ大学およびスラバヤ工科大学、2017年よりボゴール農科大学(いずれもインドネシア共和国)との学生交流も展開しており、ますます国際的に開かれた高等教育機関を目指した運営を行っています。学術交流協定を締結している上記大学には、毎年学生が留学しており、これまでに延べ193人(上海183人、インドネシア10人)の学生が国際性を備えた人材育成のプログラムに参加しています。学生は、文部科学省とJASSO(日本学生支援機構)が実施している「トビタテ!留学JAPAN」をはじめさまざまな海外留学制度を利用しています。海外渡航が制限された2020年には、上海電機学院の学生とのWeb交流会に14人の学生が参加しました。また、2021年にはマレーシアやモンゴル、カンボジアから新たに3人の国費や政府派遣の留学生を迎え、合わせて11人の留学生たちが日本人学生とともにプロフェッショナルな技術者を目指して学んでいます。



上海電機学院とのWeb交流会

学生寮(柑紀寮)

集団生活を通じて人間形成を図る教育の場として、学生寮(柑紀寮、定員518人(男子381人、女子137人))を設置しています。

協力と信頼に基づく集団生活から、自立と協調の精神や豊かな人間性が養われます。寮生活や学習の指導には、上級生の指導寮生があたり、寮生で組織された寮生会が、学寮生活に彩りを添える、さまざまな行事を開催します。

第1・第2学年の男子学生(入寮2年まで)は、原則として全寮制となっており、入寮3年目以降は選考により入寮を許可します。女子学生は任意制(選考有り)となっています。

現在、新型コロナウイルス感染症対策のため全室個室利用とし、また、5号館が改築中であることから、入寮者数を制限して運用しています。

男子寮6棟(男子学生312名) 女子寮2棟(女子学生76名)
合計388名(留学生・専攻科生を含む)

各室定員 低学年1~2名、高学年1~2名
※令和3年度は各室個室利用

寄宿料 700~800円(月額)
※光熱水費等は別途負担

各室備品 学習机・書棚・ベッド・ロッカー・エアコン・インターネット接続用モジュージャック

補食室備品 冷蔵庫・電子レンジ・IHコンロ

洗濯室備品 洗濯機・乾燥機

談話室備品 テレビ・エアコン・インターネット接続用無線LAN

各学年全学生中の入寮率

1年生	67%
2年生	52%
3年生	48%
4年生	35%
5年生	30%
専攻科生	15%
男子	46%
女子	39%

学科、学年別の入寮数

2021年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科	計
知能機械工学科	30(3)	25(1)	23(3)	15 ⁽⁵⁾ ₍₁₎	11(2)		104 ⁽¹⁴⁾ ₍₁₎
電気情報工学科	25(2)	23(5)	20 ⁽⁴⁾ ₍₁₎	12 ⁽¹⁾ ₍₁₎	15 ⁽⁰⁾ ₍₂₎		95 ⁽¹²⁾ ₍₄₎
生物応用化学科	29(10)	17(8)	17(6)	19 ⁽⁸⁾ ₍₁₎	10 ⁽³⁾ ₍₁₎		92 ⁽³⁵⁾ ₍₂₎
環境都市工学科	26(6)	20(2)	17 ⁽¹⁾ ₍₁₎	16 ⁽³⁾ ₍₁₎	9 ⁽²⁾ ₍₁₎		88 ⁽¹⁴⁾ ₍₃₎
メカトロニクス工学科						3(0)	3(0)
エコシステム工学科						6(1)	6(1)
計	110(21)	85(16)	77 ⁽¹⁴⁾ ₍₂₎	62 ⁽¹⁷⁾ ₍₄₎	45 ⁽⁷⁾ ₍₄₎	9(1)	388 ⁽⁷⁶⁾ ₍₁₀₎

()内は女子内数 ◊は外国人留学生内数



柑紀寮全景



男子寮居室



女子寮居室



寮食堂



寮食メニュー



補食室



談話室



新歓バレー大会



寮内勉強会(ラーニングcommons)

研究活動・地域との連携

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンターは、地域との交流活動を行うことを目的として1995(平成7)年に開設されました。以来、各学科の多岐にわたる教育研究の特徴を活かし、地域産業界の動向や要請を十分に組み入れた技術者教育や共同研究等を推進してきました。

地域共同テクノセンターでの主な活動内容

- 1 地域産業への技術協力
- 2 共同研究・受託研究の推進
- 3 公開講座・出前授業等を通じた社会貢献
- 4 学生に対する地域基盤型科学技術教育の充実



和高专産官学技術交流会

1997(平成9)年には、地域との更なる連携を目的として、本校と御坊地域の企業等で構成される「和歌山工業高等専門学校産官学技術交流会」が、1999(平成11)年には田辺地域の企業を主要会員とする「南紀熊野産官学技術交流会」が発足しました。

また、2008(平成20)年に地域経済の活性化を目的として(株)紀陽銀行と包括的な連携協定を、2011(平成23)年3月に、近畿7高专と(財)大阪科学技術センターとが産学連携事業実施に係る覚書を、同年12月に(独)産業技術総合研究所関西センターと連携・協力に係る覚書を締結しました。加えて2016(平成28)年には、地元企業からの技術相談等への迅速な対応と事務の簡略化を目的に(公財)わかやま産業振興財団との連携協定を締結しました。

また、2017(平成29)年度には三重県の鳥羽商船高等専門学校と包括連携協定を締結し、「海」をキーワードにした教育・研究で紀伊半島横断型の連携を深めています。

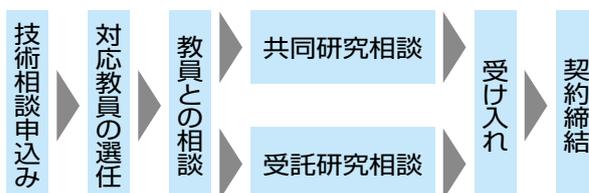
地域産業との技術交流

地域共同テクノセンターでは、「研究協力、技術協力や技術相談への対応」および「地域産業界との交流促進」を重要な方針と位置づけて、本校の得意技術分野で地域産業界からの要請に即応できる体制を整えています。さらに、地域産業界への情報発信と意見交換の場として、技術交流会、技術懇話会、教育研究発表会、テクノサロン、技術講演会等々を外部と連携しながら積極的に開催しています。また、地域の防災に関する取組を通じて地域の防災力の強化も目指していきます。

人材育成の活動としては、2015(平成27)年度に地(知)の拠点(COC)校として文部科学省の認定を受け、学生に対する地域密着型の地方創生教育を充実させました。また、各学科および技術支援室の教職員により、地域の小中学生を対象とした公開講座および出前授業等を開催してきました。2020(令和2)年度からは「きのくにジュニアドクター育成塾」事業を開始し、小中学生への科学技術教育をさらに拡充させて地域の人材育成にも貢献しています。

2020(令和2)年度からは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、これまでの対面型のイベントから、オンラインツールを活用した遠隔型に切り替えて実施しております。

また、本校では種々の分析や測定向けに最先端の研究装置・機器を多数保有し、様々な研究や技術相談に対応できます。



和高专・次世代テクノサロン(対面、遠隔)



きのくにジュニアドクター育成塾(遠隔)



本校での公開講座の様子

多機能遺伝子解析装置

写真の装置はほんの一例であり、詳細については本校ホームページの地域共同テクノセンターのページで随時公開していますのでぜひご覧ください。
https://www.wakayama-nct.ac.jp/shisetsu/technocenter/machine_t.html

メディアセンター

図書館

開館時間 平日：午前9時～午後9時(休業期間中は午後5時まで) 土曜：午前10時～午後4時(授業期間中のみ)

図書館では、専門書、学習参考書、一般教養書などの諸図書や新聞・雑誌など、および視聴覚資料としてビデオテープ・CD・DVDなどを備え、学生および教職員に種々の学術情報を提供しています。

また、地域に開かれた図書館としても情報サービスに努めており、和歌山県内の図書館及び図書室等との緊密な連携のもとに、図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山地域図書館協議会を組織し、所蔵資料の現物貸借や複写サービス等を提供しています。

蔵書数

2021年4月1日現在

		計
単行書	0. 総記	3,831 (冊)
	1. 哲学	3,896 (冊)
	2. 歴史	7,141 (冊)
	3. 社会科学	7,733 (冊)
	4. 自然科学	18,874 (冊)
	5. 技術	19,736 (冊)
	6. 産業	1,719 (冊)
	7. 芸術	3,898 (冊)
	8. 言語	5,444 (冊)
	9. 文学	14,648 (冊)
	計	86,920 (冊)
雑誌		424 (種)



情報処理教育センター

情報処理教育センターは、教育用パーソナルコンピュータ131台と教育用サーバー3台を設置し、本校の教育・研究・地域連携活動を情報処理の側面から支えています。

教育用パソコンを、コンピュータ利用の基礎、IT応用ソフトウェアの利用および各種のプログラミング言語の学習に活用しています。

また、高度情報化に対応する先端機器を設置しており、学内に整備された光ファイバによるギガビットイーサネットを活用して、センター演習室や各学科研究室から世界に対して情報収集・発信しています。



学生用演習室

教育用PC…ICTルーム1 (50台)、
ICTルーム2 (50台)、
専攻科棟マルチメディア教室 (31台)

センター利用時間

平日：午前8時30分～午後5時



ものづくりセンター

ものづくりセンターは、安全性を重視した実習教育や工学実験、研究活動を支援する学内共同利用施設です。実習では、知能機械工学科1～3年の学生が、基本的な工具類の安全で正しい使用方法から、最新のCNC(コンピュータ数値制御)工作機械による高度な加工方法までの技能を修得します。

また、当センターは、卒業研究、特別研究における実験・研究の場、ロボコンなどの課外活動の場としても活用されています。



学年暦・学校行事



■入試関係
■寮関係

前学期		
<ul style="list-style-type: none"> 入学式 始業式 創立記念日 	<ul style="list-style-type: none"> 入寮 定期健康診断 指導寮生任命式・研修会 救急救命講習会 学生会クラブ紹介 寮生避難訓練 新入生オリエンテーション ウェルカミングパーティー 学生総会 寮生総会 	4月
<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 専攻科入学試験(推薦) 専攻科入学試験(社会人) 	<ul style="list-style-type: none"> 校内体育大会 消防避難訓練 	5月
<ul style="list-style-type: none"> 専攻科入学試験(学力) 前期中間試験 	<ul style="list-style-type: none"> 寮部屋替(1年) 留学生スピーチ大会 近畿地区高専体育大会 	6月
<ul style="list-style-type: none"> 前期末試験 編入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> なるほど体験科学の祭典 近畿地区高専体育大会 寮祭 上海電機学院から短期留学 	7月
<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパス 夏季休業 保護者個別懇談 	<ul style="list-style-type: none"> 閉寮 公開講座 全国高専体育大会 	8月
	寮部屋替(1・2年)	9月

後学期

10月	学校説明会	プログラミングコンテスト本選 ロボコン近畿地区大会 開寮 指導寮生任命式・研修会 ● 寮生避難訓練
	後期中間試験	高専祭 ● 英語ブレコン近畿地区大会 ● ロボコン全国大会 ● 避難訓練 指導寮生研修会(他高専訪問) 学寮スポーツ大会
12月	冬季休業	進路指導説明会 産業勉強会 デザインコンペティション 閉寮
	学校長推薦入試 体験実習入試	学生総会 英語ブレコン全国大会 開寮 寮生総会 ニューイヤースポーツフェスティバル
1月	後期末試験 学力検査入試/帰国生徒 特別選抜入試 終業式	本科卒業研究発表会 閉寮
	卒業証書授与式 ● 学年末休業	上海電機学院短期留学派遣 ●



■ 入試関係
■ 寮関係

校舎配置図



- 校舎**
- 1 本館(総合教育科・管理部)
 - 2 本館(生物応用化学科)
 - 3 本館(電気情報工学科)
 - 4 本館(知能機械工学科)
 - 5 環境都市工学科棟
 - 6 地域共同テクノセンター
 - 7 普通教室棟
 - 8 ものづくりセンター
 - 9 学生課
 - 10 水理実験室
 - 11 門衛所
 - 12 バス車庫
 - 13 事務倉庫1
 - 14 事務倉庫2
 - 15 用具倉庫
 - 16 危険物貯蔵所
 - 17 物質化学実験室
 - 18 陸上器具庫
 - 19 体育用具庫
 - 20 車庫
 - 21 廃水処理施設
 - 22 専攻科棟
 - 23 メディアセンター

- 屋内運動場**
- 24 武道場
 - 25 第1体育館
 - 26 第2体育館
 - 27 屋外便所1
 - 28 屋外便所2
 - 29 体育器具庫
 - 30 プール附属屋
 - 31 弓道場

- 福利厚生施設**
- 32 福利センター・国際交流会館
 - 33 課外活動施設
 - 34 部室1
 - 35 部室2

- 寄宿舎**
- 36 寄宿舎食堂・浴室
 - 37 寄宿舎1号館・事務室
 - 38 寄宿舎2号館
 - 39 寄宿舎3号館
 - 40 寄宿舎4号館
 - 41 寄宿舎5号館(改築中)
 - 42 寄宿舎6号館
 - 43 寄宿舎7号館
 - 44 寄宿舎8号館
 - 45 食品倉庫
 - 46 寄宿舎ボイラー室
 - 47 寄宿舎電気室



学生の福利厚生施設

学生の福利厚生施設として、学生食堂、オープンラウンジ、アメニティルームがあります。屋外にもテーブルやベンチを設置しており、憩いの場として利用されています。また、女子学生更衣室を新たに整備しました。

学生食堂



屋外ベンチと
テーブルセット

女子学生
更衣室



障害者の支援

障害者支援は、学生支援室を中心に対応し、個々の状況に応じて様々な支援を行います。また、車椅子でも移動できるよう、スロープ、エレベータ、自動ドアやバリアフリートイレなどの障害者用施設も充実しています。

スロープ



バリアフリー
トイレ(4箇所)

エレベータ
(4基)



留学生の支援

和歌山高専では、たくさんの留学生が学習しており、生活や勉強の面で留学生を支えるチューター(学生)を3年次に配置しています。また、留学生を対象としたイベントや、留学生のための施設も充実しています。

留学生
指導室



外国人留学生
研修旅行

留学生
スピーチ大会



学生の健康支援

学生の健康管理・支援のため国際交流会館内の保健室に看護師が常駐しています。また、臨床心理士を委嘱し、週二回校内の「オレンジルーム」にてカウンセリングを行っており、校医のクリニックも校地に隣接しています。

保健室



国際交流
会館入口



オレンジルーム



データ集

教員一覧 30

総合教育科 教員
知能機械工学科 教員
電気情報工学科 教員
生物応用化学科 教員
環境都市工学科 教員

教育課程 31

一般科目教育課程
知能機械工学科 専門科目教育課程
電気情報工学科 専門科目教育課程
生物応用化学科 専門科目教育課程
環境都市工学科 専門科目教育課程
メカトロニクス工学専攻 教育課程
エコシステム工学専攻 教育課程

学生の詳細情報 33

〈本科〉
学生の定員及び現員・入学志願者及び入学者
高校からの編入学志願者及び編入学者
〈専攻科〉
学生の定員及び現員・入学志願者及び入学者

在学生の出身地
外国人留学生・奨学金・授業料免除

進路 35

〈本科進路〉
就職・大学等編入学
2020年度(令和2年度)本科卒業生進路先一覧
〈専攻科進路〉
専攻科修了生進学先一覧・専攻科修了生就職先一覧

外部資金等受入(2020年度) 39

協定等の締結(主なもの) 39

学生・教職員の主な受賞一覧 40

学生
教職員

会計 41

教員一覧 (2021年5月1日現在)

総合教育科 教員

職名		氏名	専門分野
教授	博士 (理学)	秋山 聡 AKIYAMA Satoru	原子核理論
	博士 (理学)	青山 欽生 AOYAMA Yoshio	情報処理
	博士 (文学)	赤崎 雄一 AKASAKI Yuichi	歴史学(東南アジア)
	博士 (工学)	岩本 仁志 IWAMOTO Hitoshi	化学(計算機化学)
	修士 (学術)	桑原 伸弘 KUWABARA Nobuhiro	体育方法学
	体育 学士	中出 明人 NAKADE Akito	学校心理学
	博士 (理学)	濱田 俊彦 HAMADA Toshihiko	数学(関数方程式)
	文学 修士	平山 規義 HIRAYAMA Noriyoshi	フランス文学・語学
	教育学 修士	宮本 克之 MIYAMOTO Katsuyuki	国語教育学・文学
	文学 修士	吉田 芳弘 YOSHIDA Yoshihiro	ドイツ文学
	文学 修士	和田 茂俊 WADA Shigetoshi	国文学(近現代)
	准教授	修士 (学術)	芥河 晋 AKUTAGAWA Susumu
理学 修士		右代谷 昇 USHIROYA Noboru	数学
博士 (理学)		孝森 洋介 TAKAMORI Yousuke	宇宙物理学
M.A. (M. Eng.)		David MARSH デイビッド マーシュ	英語教育
博士 (人間科学)		原 めぐみ HARA Megumi	国際社会学、移民研究
博士 (工学)		平岡 和幸 HIRAOKA Kazuyuki	数理工学
助教	文学 修士	森岡 隆 MORIOKA Takashi	アメリカ文学、英語教育
	博士 (理学)	池田 浩之 IKEDA Hiroyuki	天文学
	修士 (教育学)	川崎 有里紗 KAWASAKI Arisa	人文地理学
	博士 (学術)	志村 幸紀 SHIMURA Yukinori	哲学・倫理学

知能機械工学科 教員

職名		氏名	専門分野
教授	博士 (工学)	大村 高弘 OHMURA Takahiro	熱工学
	博士 (工学)	榎原 恵藏 KASHIHARA Keizo	機械材料学、材料強度学
	博士 (工学)	北澤 雅之 KITAZAWA Masayuki	人間工学、設計工学
准教授	博士 (工学)	山東 篤 SANDO Atsushi	計算力学
	博士 (工学)	津田 尚明 TSUDA Naoaki	ヒューマンインタフェース、ロボット工学
	博士 (工学)	早坂 良 HAYASAKA Ryo	数値熱流体工学
	博士 (工学)	村山 暢 MURAYAMA Toru	群ロボット、自律分散システム
助教	博士 (工学)	石橋 春香 ISHIBASHI Haruka	計測工学・計測制御
	博士 (工学)	徐 嘉榮 XU Jiale	MEMS(微小な電気機械システム)

電気情報工学科 教員

職名		氏名	専門分野
教授	博士 (工学)	岡本 和也 OKAMOTO Kazuya	ロボット工学、電子回路、生産技術
	博士 (工学)	謝 孟春 XIE Mengchun	知識情報処理
	工学 修士	森 徹 MORI Toru	信号処理
	博士 (工学)	山吹 巧一 YAMABUKI Koichi	電力システム、雷保護設計
准教授	博士 (情報工学)	岩崎 宣生 IWASAKI Nobuo	信号処理
	博士 (工学)	岡部 弘佑 OKABE Kousuke	ロボット工学、制御工学
	博士 (工学)	竹下 慎二 TAKESHITA Shinji	電磁流体力学
	博士 (工学)	直井 弘之 NAOI Hiroyuki	半導体工学、電子材料
	博士 (工学)	村田 充利 MURATA Mitsutoshi	マイクロ波誘電体フィルタ

生物応用化学科 教員

職名		氏名	専門分野
教授	博士 (工学)	米光 裕 YONEMITSU Hiroshi	生物工学、分子生物学
	博士 (工学)	岸本 昇 KISHIMOTO Noboru	化学工学、分離工学
	博士 (工学)	綱島 克彦 TSUNASHIMA Katsuhiko	電気化学、有機電気化学、有機機能材料
	博士 (工学)	奥野 祥治 OKUNO Yoshiharu	天然物化学、生物有機化学
	博士 (薬学)	土井 正光 DOI Masamitsu	ペプチド化学、生物物理
准教授	博士 (工学)	河地 貴利 KAWAJI Takatoshi	有機合成化学、超分子化学
	博士 (工学)	楠部 真崇 KUSUBE Masataka	生物物理化学、高圧生理化学
	博士 (理学)	SETIAMARGA Davin ステイアマルガ デフィン	生物工学、分子生物学
	博士 (工学)	西本 真琴 NISHIMOTO Makoto	生物物理化学、界面化学
助教	博士 (工学)	森田 誠一 MORITA Seiichi	生体化学工学
	博士 (理学)	舟谷 佑典 FUNASAKO Yusuke	有機材料化学、機能物性化学
嘱託教授	博士 (工学)	野村 英作 NOMURA Eisaku	有機工業化学、高分子化学
	博士 (工学)	林 純二郎 HAYASHI Junjiro	分析化学、コロイド化学
特命助教	修士 (総合化学)	山崎 脩平 YAMASAKI Shuhei	電気化学、計算化学、輸送現象

環境都市工学科 教員

職名		氏名	専門分野
教授	博士 (工学)	小池 信昭 KOIKE Nobuaki	津波工学、海岸工学
	博士 (工学)	辻原 治 TSUJIHARA Osamu	地震工学、構造工学
	博士 (工学)	三岩 敬孝 MITSUIWA Yoshitaka	土木材料学、コンクリート工学
准教授	博士 (工学)	青木 仁孝 AOKI Masataka	環境微生物学、微生物生態学
	博士 (工学)	伊勢 昇 ISE Noboru	土木計画学、交通工学
	博士 (工学)	林 和幸 HAYASHI Kazuyuki	地盤工学
	博士 (工学)	山田 空 YAMADA Osamu	耐震工学、構造工学
	博士 (工学)	横田 恭平 YOKOTA Kyohei	環境化学・地球化学
助教	博士 (工学)	平野 廣佑 HIRANO Hirotsuke	海洋建築工学、物質応用化学

教育課程

本科

一般科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
国語	8	3	3	2		
思考と表現	1			1		
世界史	2	2				
日本史	2		2			
環境と社会	1	1				
現代の世界	1		1			
政治・経済	2			2		
倫理	1			1		
日本経済論	1				1	
数学Ⅰα	3	3				
数学Ⅰβ	3	3				
数学Ⅱα	4		4			
数学Ⅱβ	2		2			
数学Ⅲα	3			3		
数学Ⅲβ	2			2		
物理	5	2	3			
保健・体育	10	3	2	2	2	1
芸術	1	1				
英語	2				2	
英語総合	10	4	4	2		
英語表現	2	2				
英会話	1		1			
英文法	2			2		
知能機械工学科・電気情報工学科・環境都市工学科 必修科目						
化学Ⅰ	3	3				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1		1			
生物応用化学科 必修科目						
化学Ⅰ	3	3				
化学Ⅱ	2		2			
総合理科	1	1				
必修科目小計						
知能機械工学科	75	27	25	17	5	1
電気情報工学科						
環境都市工学科						
生物応用化学科						
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
わかやま学*	1		1			
地域と文化 A	1					1
地域と文化 B	1					1
地域と文化 C	1					1
第2外国語 AI	2				2	
第2外国語 BI	2				2	
第2外国語 CI	2				2	
英語 A	2					2
英語 B	2					2
第2外国語 AII	2					2
第2外国語 BII	2					2
第2外国語 CII	2					2
海外異文化交流(留学)**	1	1	1	1	1	1
選択科目小計	21	1	2	1	7	14
開設単位数						
知能機械工学科	96	28	27	18	12	15
電気情報工学科						
環境都市工学科						
生物応用化学科						
修得単位数						
知能機械工学科	75以上	27	25	17	注	
電気情報工学科						
環境都市工学科						
生物応用化学科						

* 必ず履修
** 単位取得の上限は1単位
注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。

特別活動	単位時間数	1年	2年	3年
	90	30	30	30

知能機械工学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	4				2	2
応用物理	2			2		
工業外国語	1					1
工業力学	1		1			
振動工学	2					2
材料力学	4			2	2	
材料学	3			1	2	
熱力学	1			1		
工業熱力学	2				2	
水力学	1			1		
流体力学	2				2	
機構学	2		2			
機械設計法	4			2	2	
機械システム工学	2					2
機械工作法	3		2	1		
機械設計製図	8	2	2	2	2	
工作実習	6.5	2	3	1.5		
ロボット創作実習	1.5			1.5		
電子制御Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	6			2	2	2
自動制御	2				2	
コンピュータ入門	2	2				
情報処理	3			1	2	
メカトロニクス設計	2					2
計測工学	2				2	
機械工学実験	4.5				3	1.5
卒業研究	8.5					8.5
必修科目小計	80	6	10	18	25	21
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
材料強度学	2					2
流体工学	2					2
生産管理工学	2					2
情報工学	2					2
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
選択科目小計	12	0	0	0	4	8
開設単位数	92	6	10	18	58	
修得単位数	82以上	6	10	18	注	

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17	注		

総計

	開設単位数	188	34	37	36	85
修得単位数	167以上	33	35	35	64以上	

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

電気情報工学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目 必修科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
応用数学	2				2	
応用物理	2			2		
工業外国語	2				2	
電気回路Ⅰ,Ⅱ	5		3	2		
電気回路Ⅲ	2			2		
電気磁気学Ⅰ	2			2		
計算機入門	2	2				
情報処理Ⅰ,Ⅱ	4	2	2			
情報処理Ⅲ	2		2			
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	2			2		
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	2			2		
電子回路Ⅰ,Ⅱ	4			2	2	
計算機アーキテクチャ	2		2			
マイクロコンピュータ	2		2			
情報通信	2				2	
回路網理論	2				2	
電子工学	2				2	
電気材料	2				2	
電子計測	2			2		
電気機器	2			2		
自動制御	2					2
OSとセキュリティ	2				2	
電気情報工学実験	12	2	2	3	3	2
卒業研究	10					10
必修科目小計	73	6	13	21	19	14
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
システム設計	2				2	
IC応用回路	2				2	
電気磁気学Ⅱ	2				2	
電気設計	2				2	
パワーエレクトロニクス	2					2
送配電工学	2				2	
発変電工学	2				2	
高電圧工学	2					2
電気法規・電気施設管理	1					1
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2					2
選択科目小計	21	0	0	0	12	9
開設単位数	94	6	13	21	54	
修得単位数	82以上	6	13	21	注	

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17	注		

総計

	開設単位数	190	34	40	39	81
修得単位数	167以上	33	38	38	58以上	

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち9単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

本科

生物応用化学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学	2				2	
応用物理	4			2	2	
情報処理	3	2		1		
生物応用化学入門	2	2				
生物	2		2			
分析化学	3		1	2		
有機化学	4		1	2	1	
無機化学	4			2	2	
物理化学	4			2	2	
生命科学	2			2		
化学工学	5		1	2	2	
発酵科学	2			2		
生物化学	2			2		
機器分析	2			2		
高分子化学	2			2		
反応工学	2					2
工学ゼミナール	1					1
生物応用化学実験 I,II,III,IV	17	2	3	4	8	
卒業研究	13					13
応用化学コース必修科目						
材料化学	2				2	
合成化学	2					2
生物化学コース必修科目						
分子生物学	4				2	2
必修科目小計	80	6	7	18	29	20
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
先端工学概論	2					2
地域イノベーション工学特論	2					2
計測制御工学	2					2
移動速度論	2					2
食品工学	2					2
天然資源化学	2					2
生物資源科学	2					2
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2				2	
応用化学コース選択科目						
分子生物学	4				2	2
生物化学コース選択科目						
材料化学	2				2	
合成化学	2					2
選択科目小計	22	0	0	0	6	16
開設単位数	102	6	7	18	35	36
修得単位数	82以上	6	7	18		注

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	開設単位数	96	29	26	18	12	15
修得単位数	75以上	28	24	17			注

総計

	開設単位数	198	35	33	36	47	51
修得単位数	167以上	34	31	35	67以上		

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち2単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

環境都市工学科 専門科目教育課程(平成31年度以降入学)

授業科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
必修科目						
応用数学 I,II	4				4	
応用物理	2			2		
環境都市工学通論	1	1				
コンピュータリテラシー	1	1				
防災学概論	1	1				
基礎情報処理演習 I,II	3		1	2		
応用情報処理演習	2				2	
構造力学 I,II,III,IV	7		1	2	2	2
橋梁工学	2				2	
建設材料学	1		1			
コンクリート構造学 I,II	2			2		
土質力学 I,II	3			1	2	
水理学 I,II	4			2	2	
河川工学	2				2	
都市地域計画	1				1	
測量学 I,II,III	3		1	1	1	
環境工学基礎	1		1			
環境工学 I,II	3			1	2	
環境工学 III	2				2	
施工管理学	2				2	
基礎製図 I,II	2	1	1			
設計製図 I,II,III	5			1	2	2
基礎実験 I,II	4			2	2	
測量学実習 I,II	4		2	2		
環境都市工学演習	2				2	
卒業研究	10					10
必修科目小計	74	4	8	18	30	14
選択科目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年
振動工学	2					2
耐震工学	2					2
社会基盤メンテナンス工学	2					2
地盤工学	2					2
海岸工学	2					2
計画数理	1				1	
交通システム	1				1	
環境工学IV	1				1	
企業実践講座*	1				1	
学外実習**	1				1	
県内インターンシップ**	2				2	
選択科目小計	17	0	0	0	4	13
開設単位数	91	4	8	18	61	
修得単位数	82以上	4	8	18		注

* 必ず履修
** 履修できるのはどちらか一つ

一般科目合計

	開設単位数	96	28	27	18	12	15
修得単位数	75以上	27	25	17			注

総計

	開設単位数	187	32	35	36	88
修得単位数	167以上	31	33	35	68以上	

注 一般科目75単位以上、専門科目82単位以上、かつ合計167単位以上修得すること。
(専門科目の選択科目のうち8単位は必須。
一般科目または専門科目の選択科目のうち10単位以上(167-(75+82))は自由に選択可能。)

専攻科

メカトロニクス工学専攻 教育課程(平成30年度以降入学)

授業科目	単位数	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
一般科目					
○時事英語	2	2			
○実用英会話	2		2		
現代アジア論	2			2	
ビジネスコミュニケーション	2	2			
テクニカルライティング	2		2		
○技術者倫理	2			2	2
一般科目 開設単位数	12	4	4	2	2
一般科目 修得単位数		6単位以上			
専門共通科目					
数理統計学	2				2
数理工学	2	2			
線形代数	2	2			
数値計算・解析法	2		2		
量子力学	2	2			
物性物理	2			2	
情報理論	2		2		
センサー工学	2	2			
応用エネルギー工学	2		2		
環境分析	2		2		
環境化学工学	2	2			
環境アセスメント	2		2		
創造プログラミング	2			2	
環境マネジメント	2				2
専門共通科目 開設単位数	28	10	10	6	2
専門共通科目 修得単位数		12単位以上			
専門専攻科目					
○工学特別ゼミナール	4	2			2
○工学特別実験	4	2	2		
○特別研究 I	4	2	2		
○特別研究 II	10			4	6
計測制御工学	2		2		
パワーエレクトロニクス特論	2		2		
ロボティクス	2			2	
材料科学	2	2			
機能材料学	2			2	
精密加工学	2		2		
熟流体工学	2			2	
生産工学	2		2		
信号処理理論	2		2		
応用電子回路	2			2	
情報伝送工学	2			2	
インターンシップ	2				2
専門専攻科目 開設単位数	46	10	14	16	6
専門専攻科目 修得単位数		36単位以上			
一般・専門科目 開設単位数 合計	86	24	28	24	10
一般・専門科目 修得単位数		62単位以上			

エコシステム工学専攻 教育課程(平成30年度以降入学)

授業科目	単位数	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
一般科目					
○時事英語	2	2			
○実用英会話	2		2		
現代アジア論	2			2	
ビジネスコミュニケーション	2	2			
テクニカルライティング	2		2		
○技術者倫理	2			2	2
一般科目 開設単位数	12	4	4	2	2
一般科目 修得単位数		6単位以上			
専門共通科目					
数理統計学	2				2
数理工学	2	2			
線形代数	2	2			
数値計算・解析法	2		2		
量子力学	2	2			
物性物理	2			2	
情報理論	2		2		
センサー工学	2	2			
応用エネルギー工学	2		2		
環境分析	2		2		
環境化学工学	2	2			
環境アセスメント	2		2		
創造プログラミング	2			2	
環境マネジメント	2				2
専門共通科目 開設単位数	28	10	10	6	2
専門共通科目 修得単位数		12単位以上			
専門専攻科目					
○工学特別ゼミナール	4	2			2
○工学特別実験	4	2	2		
○特別研究 I	4	2	2		
○特別研究 II	10			4	6
反応有機化学	2		2		
化学反応論	2			2	
有機機能材料	2			2	
選伝子工学	2	2			
細胞工学	2		2		
分離工学	2		2		
生体高分子	2			2	
応用材料工学	2	2			
応用地盤工学	2		2		
建設設計工学	2			2	
社会基盤計画学	2			2	
水圏工学	2		2		
地域環境工学	2			2	
複合構造工学	2			2	
インターンシップ	2				2
専門専攻科目 開設単位数	52	12	14	20	6
専門専攻科目 修得単位数		36単位以上			
一般・専門科目 開設単位数 合計	92	26	28	28	10
一般・専門科目 修得単位数		62単位以上			

○印は必修科目

学生の詳細情報

〈本科〉

学生の定員及び現員

2021年5月1日現在

学科	区分	学級数	入学定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
知能機械工学科		1	40	41 ⁽³⁾	39 ⁽⁴⁾	41 ⁽⁵⁾ ⁽¹⁾	42 ⁽⁷⁾ ⁽¹⁾	43 ⁽³⁾ ⁽²⁾	206 ⁽²²⁾ ⁽²⁾
電気情報工学科		1	40	42 ⁽⁵⁾	41 ⁽⁷⁾	43 ⁽⁶⁾ ⁽¹⁾	46 ⁽⁵⁾ ⁽¹⁾	36 ⁽⁶⁾ ⁽²⁾	208 ⁽²⁹⁾ ⁽⁴⁾
生物応用化学科		1	40	41 ⁽¹⁸⁾	42 ⁽¹⁹⁾	37 ⁽¹⁴⁾	44 ⁽¹⁸⁾ ⁽¹⁾	36 ⁽¹⁴⁾ ⁽¹⁾	200 ⁽⁸³⁾ ⁽²⁾
環境都市工学科		1	40	41 ⁽⁹⁾	42 ⁽¹¹⁾	40 ⁽⁷⁾ ⁽¹⁾	43 ⁽⁹⁾ ⁽¹⁾	37 ⁽¹⁰⁾ ⁽¹⁾	203 ⁽⁴⁶⁾ ⁽³⁾
計		4	160	165 ⁽³⁵⁾	164 ⁽⁴¹⁾	161 ⁽³²⁾ ⁽³⁾	175 ⁽³⁹⁾ ⁽⁴⁾	152 ⁽³³⁾ ⁽⁴⁾	817 ⁽¹⁸⁰⁾ ⁽¹¹⁾

()内は女子内数 ()は外国人留学生内数

入学志願者及び入学者

2021年5月1日現在

学科	年度	2017		2018		2019		2020		2021	
		志願者	入学者								
知能機械工学科		62 ⁽⁴⁾	40 ⁽²⁾	62 ⁽⁸⁾	41 ⁽⁷⁾	63 ⁽⁸⁾	41 ⁽⁵⁾	54 ⁽⁴⁾	40 ⁽⁴⁾	56 ⁽³⁾	40 ⁽³⁾
電気情報工学科		58 ⁽⁸⁾	40 ⁽⁶⁾	80 ⁽⁵⁾	42 ⁽⁵⁾	65 ⁽¹⁰⁾	40 ⁽⁶⁾	54 ⁽¹⁰⁾	40 ⁽⁷⁾	49 ⁽⁶⁾	42 ⁽⁵⁾
生物応用化学科		66 ⁽²⁴⁾	40 ⁽¹⁶⁾	59 ⁽²³⁾	40 ⁽¹⁸⁾	66 ⁽²⁰⁾	40 ⁽¹⁴⁾	64 ⁽²⁷⁾	41 ⁽¹⁹⁾	56 ⁽²⁴⁾	40 ⁽¹⁸⁾
環境都市工学科		62 ⁽¹⁴⁾	40 ⁽⁹⁾	73 ⁽¹⁵⁾	40 ⁽⁸⁾	69 ⁽¹³⁾	41 ⁽⁹⁾	57 ⁽¹²⁾	41 ⁽¹¹⁾	54 ⁽¹¹⁾	40 ⁽⁹⁾
計		248 ⁽⁵⁰⁾	160 ⁽³³⁾	274 ⁽⁵¹⁾	163 ⁽³⁸⁾	263 ⁽⁵¹⁾	162 ⁽³⁴⁾	229 ⁽⁵³⁾	162 ⁽⁴¹⁾	215 ⁽⁴⁴⁾	162 ⁽³⁵⁾

※試験の結果第二志望の学科に入学した場合は、実際に入学した学科の志願者として集計

()内は女子内数

高校からの編入学志願者及び編入学者

2021年5月1日現在

学科	年度	2017		2018		2019		2020		2021	
		志願者	入学者								
知能機械工学科		1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	3 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	1 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾
電気情報工学科		5 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	4 ⁽²⁾	4 ⁽²⁾	4 ⁽¹⁾	1 ⁽⁰⁾	3 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	2 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾
物質工学科		0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾						
生物応用化学科						0 ⁽⁰⁾					
環境都市工学科		1 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾	3 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	3 ⁽⁰⁾	1 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	0 ⁽⁰⁾	2 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾
計		7 ⁽¹⁾	4 ⁽¹⁾	9 ⁽²⁾	7 ⁽²⁾	8 ⁽¹⁾	2 ⁽⁰⁾	6 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾	5 ⁽¹⁾	3 ⁽¹⁾

()内は女子内数

〈専攻科〉

学生の定員及び現員

2021年5月1日現在

専攻	区分	学級数	入学定員	1年	2年	計
メカトロニクス工学専攻		1	8	18 ⁽¹⁾	14	32 ⁽¹⁾
エコシステム工学専攻		1	8	14 ⁽⁵⁾	16 ⁽⁷⁾	30 ⁽¹²⁾
計		2	16	32 ⁽⁶⁾	30 ⁽⁷⁾	62 ⁽¹³⁾

()内は女子内数

入学志願者及び入学者

2021年5月1日現在

専攻	年度	2021	
		志願者	入学者
メカトロニクス工学専攻		21 ⁽¹⁾	18 ⁽¹⁾
エコシステム工学専攻		17 ⁽⁷⁾	14 ⁽⁵⁾
計		38 ⁽⁸⁾	32 ⁽⁶⁾

()内は女子内数

在学生の出身地 (出身中学校所在地に基づく集計:2021年度在学者)

和歌山市が23%と最も多く、本校所在地の御坊市を含む日高地域の学生は21%です。続いて、近隣の有田地域(15%)、海南市を含む海草地域(9%)、田辺市を含む西牟婁地域(9%)の学生が多く、県外では大阪府(9%)が最も多くなっています。

2021年5月1日現在

出身地	学年	1年	2年	3年	4年	5年	本科計	専攻科1年	専攻科2年	専攻科計	総計
和歌山県		142(31)	143(36)	140(30)	160(36)	132(31)	717(164)	29(6)	26(7)	55(13)	772(177)
地 域	和歌山市	42(7)	37(5)	34(4)	41(9)	29(5)	183(30)	11(4)	7(1)	18(5)	201(35)
	海草	12(1)	12(4)	13(0)	17(3)	16(2)	70(10)	3(0)	4(0)	7(0)	77(10)
	那賀	14(6)	11(3)	13(2)	11(3)	10(0)	59(14)	2(0)	0(0)	2(0)	61(14)
	伊都	8(1)	3(0)	3(0)	5(1)	7(2)	26(4)	1(0)	0(0)	1(0)	27(4)
	有田	22(6)	34(11)	20(5)	27(6)	29(7)	132(35)	1(0)	0(0)	1(0)	133(35)
	日高	31(7)	35(12)	32(9)	37(7)	30(10)	165(45)	9(2)	8(3)	17(5)	182(50)
	西牟婁	11(3)	9(1)	22(7)	18(4)	8(4)	68(19)	1(0)	4(2)	5(2)	73(21)
	東牟婁	2(0)	2(0)	3(3)	4(3)	3(1)	14(7)	1(0)	3(1)	4(1)	18(8)
大阪府		19(3)	17(3)	14(0)	9(1)	12(2)	71(9)	2(0)	3(0)	5(0)	76(9)
他 県		4(1)	4(2)	4(1)	2(1)	4(0)	18(5)	1(0)	1(0)	2(0)	20(5)
計		165(35)	164(41)	158(31)	171(38)	148(33)	806(178)	32(6)	30(7)	62(13)	868(191)

()内は女子内数

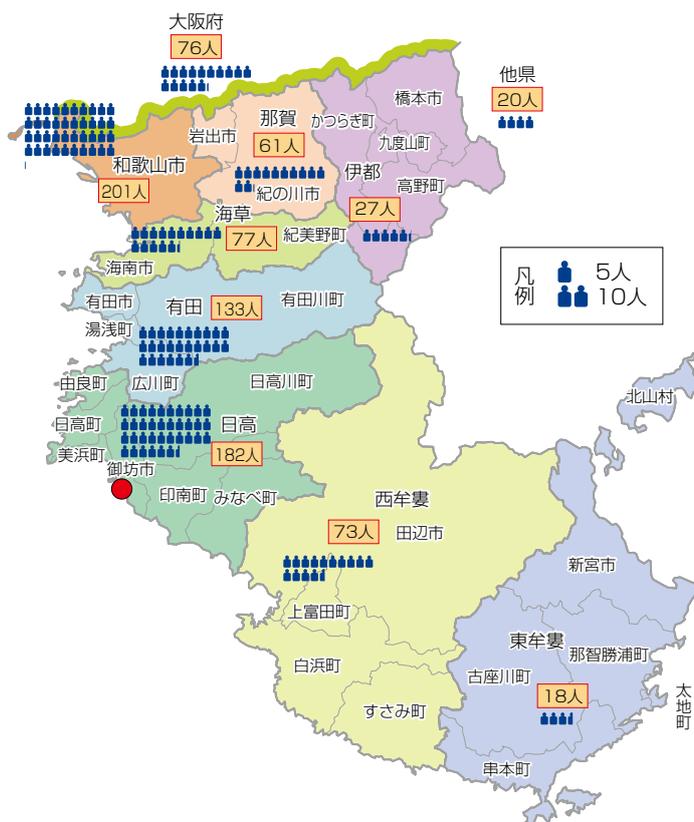
外国人留学生

2021年5月1日現在

国	学 科	3年	4年	5年	計
マレーシア	知能機械工学科	1 ⁽¹⁾	1 ⁽¹⁾		2 ⁽²⁾
//	環境都市工学科			1	1 ⁽⁰⁾
カンボジア	環境都市工学科	1	1		2 ⁽⁰⁾
モンゴル	電気情報工学科	1	1	2	4 ⁽⁰⁾
//	生物応用化学科		1		1 ⁽⁰⁾
ウガンダ	生物応用化学科			1	1 ⁽⁰⁾
計		3 ⁽¹⁾	4 ⁽¹⁾	4 ⁽⁰⁾	11 ⁽²⁾

()内は女子内数

在学生の出身地(分布図)



留学生ガイダンス

- 入学金は84,600円です。授業料には、1～3年生に原則として高等学校と同様の「就学支援金制度」の適用があり、所得に応じ年額0円、115,800円または234,600円の負担となります。また、4年生から専攻科生は、一律234,600円ですが、下記のとおり「国立高等専門学校機構による授業料免除」の適用を申請できます。
※令和2年4月からの新制度「高等教育の修学支援新制度による授業料の減免」の対象となる部分については、新制度から減免の適用を受けることができます。

奨学金

2020年度実績

学年	区分	日本学生支援機構			和歌山県	奈良県	大阪府	天野	中津基金	その他	計
		第一種	第二種	給付型							
1年		4			2	0	0		0	1	7
2年		4			3	0	2		0	2	11
3年		3			4	0	0		0	1	8
4年		4		25	1	0	0		0	7	37
5年		6	1	32	5	0	1	1	0	7	53
専攻科1年		3	1	6	0	0	0		0	1	11
専攻科2年		2	0	2	0	0	0		0	2	6
計		26	2	65	15	0	3	1	0	21	133

授業料免除

2020年度実績

学年	区分	前 期					後 期				
		希望者数	全額免除者数	2/3免除者数	1/3免除者数	免除者数/対象者数(%)	希望者数	全額免除者数	2/3免除者数	1/3免除者数	免除者数/対象者数(%)
4年		30	12	7	5	15.6	26	10	10	3	15.0
5年		42	14	13	2	18.4	38	18	9	4	19.7
専攻科1年		8	4	2	0	20.7	8	4	0	2	20.7
専攻科2年		5	2	0	0	8.7	4	1	0	1	8.7
計		85	32	22	7	16.8	76	33	19	10	17.1

進路

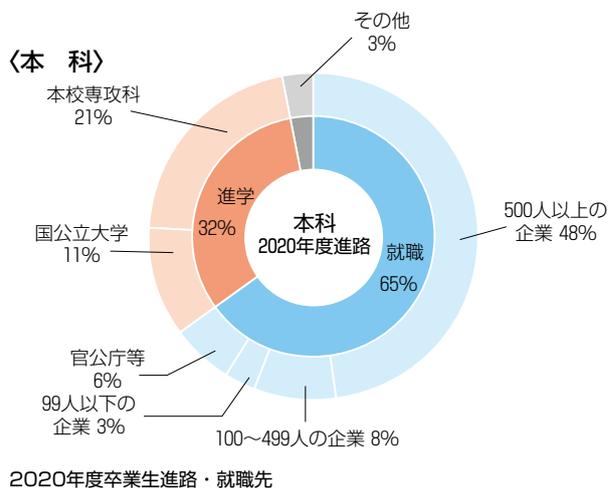
〈本科進路〉

5年間の一貫教育により技術者を育成する本校は、景気に左右されることなく、毎年100パーセントの就職率を保ち、ほぼ全員が希望の大手企業等へ就職しています。また進学を希望する卒業生はそのほとんどが国公立大学への編入学や、本校専攻科へ進学をしています。

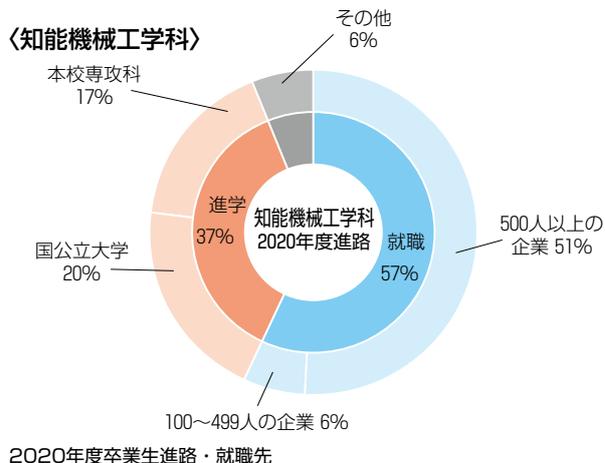
卒業生の進路は、就職65パーセント、国公立大学への進学11パーセント、本校専攻科への進学21パーセント、その他3パーセントでした。

就職

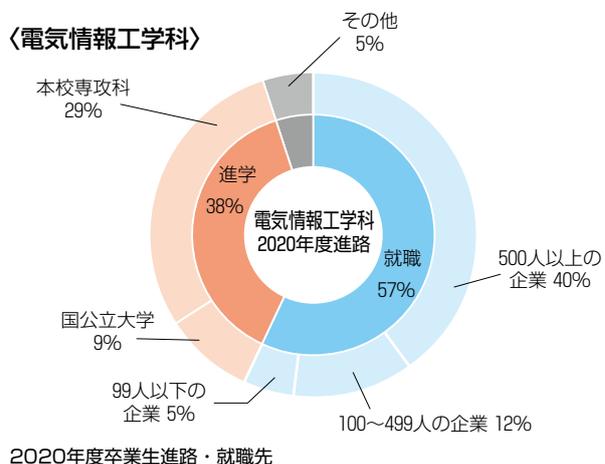
本科		年度	2016	2017	2018	2019	2020
卒業生数			158	146	157	152	156
就職者数			105	104	111	96	102
地域別	京浜地区		39	35	42	38	44
	京阪神地区		40	31	46	35	33
	和歌山県		14	16	13	12	17
	その他		12	22	10	11	8
企業規模	500人以上		78	68	82	70	75
	100人~499人		13	23	16	14	13
	99人以下		7	7	4	4	5
	官公庁等		7	6	9	8	9



知能機械工学科		年度	2016	2017	2018	2019	2020
卒業生数			44	38	44	34	35
就職者数			30	32	31	20	20
地域別	京浜地区		16	13	9	9	9
	京阪神地区		10	9	14	7	7
	和歌山県		2	4	1	2	2
	その他		2	6	7	2	2
企業規模	500人以上		24	25	28	18	18
	100人~499人		5	5	2	2	2
	99人以下			2			
	官公庁等		1		1		

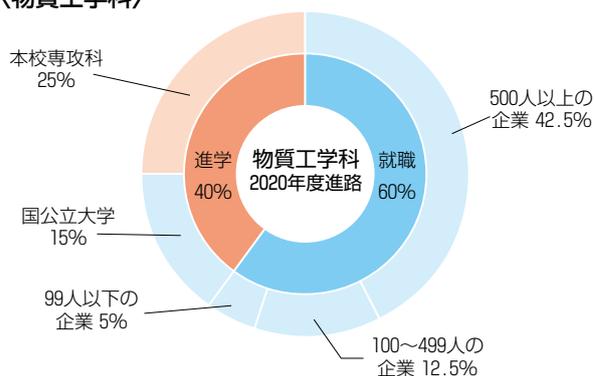


電気情報工学科		年度	2016	2017	2018	2019	2020
卒業生数			37	37	37	35	42
就職者数			22	23	28	24	24
地域別	京浜地区		7	7	12	10	9
	京阪神地区		10	7	11	7	10
	和歌山県		2	2	4	4	3
	その他		3	7	1	3	2
企業規模	500人以上		20	18	17	20	17
	100人~499人			5	9	3	5
	99人以下		2		1	1	2
	官公庁等				1		



物質工学科		年度	2016	2017	2018	2019	2020
卒業生数			40	39	38	40	40
就職者数			23	25	23	20	24
地域別	京浜地区		7	8	12	4	9
	京阪神地区		11	7	9	11	6
	和歌山県		3	5	1	2	7
	その他		2	5	1	3	2
企業規模	500人以上		17	13	17	14	17
	100人~499人		4	8	3	4	5
	99人以下		2	4	2	1	2
	官公庁等				1	1	

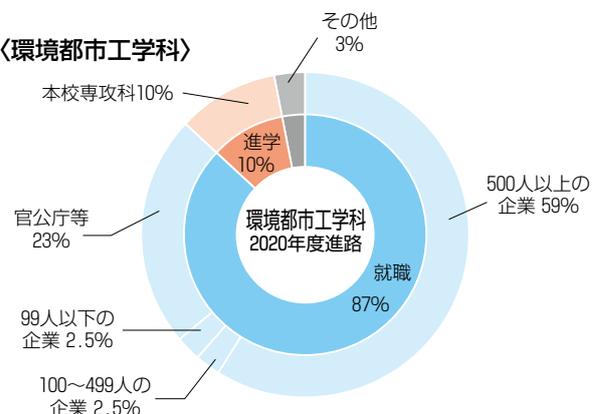
〈物質工学科〉



2020年度卒業生進路・就職先

環境都市工学科		年度	2016	2017	2018	2019	2020
卒業生数			37	32	38	43	39
就職者数			30	24	29	32	34
地域別	京浜地区		9	7	9	15	17
	京阪神地区		9	8	12	10	10
	和歌山県		7	5	7	4	5
	その他		5	4	1	3	2
企業規模	500人以上		17	12	20	18	23
	100人~499人		4	5	2	5	1
	99人以下		3	1	1	2	1
	官公庁等		6	6	6	7	9

〈環境都市工学科〉



2020年度卒業生進路・就職先



進路指導説明会



産業勉強会

大学等編入学

大学等	年度	2018	2019	2020
和歌山高専専攻科		23	29	32
豊橋技術科学大学		8	13	4
長岡技術科学大学		1	1	6
広島大学			1	2
徳島大学		3		
九州大学		1	1	1
千葉大学			2	
東京農工大学		1	1	
京都工芸繊維大学		1	1	
和歌山大学		1	1	
九州工業大学			1	1
室蘭工業大学			1	
北見工業大学		1		
宇都宮大学				1
群馬大学				1
信州大学		1		
筑波大学				1
電気通信大学		1		
金沢大学			1	
福井大学			1	
岐阜大学		1		
三重大学			1	
岡山大学			1	
佛教大学		1		
徳島文理大学		1		
計		45	56	49

2020年度(令和2年度)本科卒業生進路先一覧

2021年5月1日現在

就職先	知能機械	電気情報	物質	環境都市	計	就職先	知能機械	電気情報	物質	環境都市	計	進学先	知能機械	電気情報	物質	環境都市	計
[企業]						[官公庁等]						[進学]					
(株)IHIインフラ建設				1	1	東京都下水道サービス(株)				1	1	和歌山高専専攻科	6	12	10	4	32
旭化成(株)			1		1	東レ(株)			1		1	宇都宮大学	1				1
(株)朝日ビルディング		1			1	西日本旅客鉄道(株)				1	1	群馬大学			1		1
エヌティティインフラネット(株)		1		1	2	日鉄スラグ製品(株)				1	1	筑波大学	1				1
(株)エヌ・ティ・ティ・ネオメイト		2			2	日鉄パイプライン&エンジニアリング(株)				1	1	長岡技術科学大学	1	2	3		6
(株)NTTフィールドテクノ		1			1	(株)日本化学工業所			1		1	豊橋技術科学大学	2	1	1		4
ENEOS(株)			2		2	日本空港テクノ(株)				1	1	広島大学	1		1		2
(株)MBM		1			1	日本ペイントホールディングス(株)			1		1	九州大学			1		1
大阪ガス(株)		1		1	2	バルトソフトウェア(株)		1			1	九州工業大学	1				1
花王(株)	3	1	2		6	阪神高速技術(株)				1	1						
関西エアポートテクノカルサービス(株)	1	1			2	東日本旅客鉄道(株)				1	1						
関西電力(株)		1		1	2	ファナック(株)	1				1						
キヤノン(株)		1			1	不二製油(株)	1				1						
キヤノンメディカルシステムズ(株)		1			1	富士通(株)		1			1						
極東興和(株)				1	1	富士電機(株)		1			1						
近畿日本鉄道(株)				1	1	富士フイルム和光純薬(株)			1		1						
(株)近計システム		1			1	マルホ(株)			1		1						
クオリティソフト(株)	1	1			2	三菱電機エンジニアリング(株)	1	1			2						
(株)クボタ	1				1	三菱電機システムサービス(株)		2			2						
(株)鴻池組				1	1	ミナベ化工(株)			1		1						
向洋電機(株)		1			1	(株)村田製作所		1			1						
小西化学工業(株)			1		1	メビウスパッケージング(株)			1		1						
五洋建設(株)				1	1	森永乳業(株)	1				1						
サントリースピリッツ(株)			1		1	山崎製パン(株)	1				1						
サントリーブロダクツ(株)	2				2	山本化学工業(株)			1		1						
三洋化成工業(株)			1		1	雪印メグミルク(株)			1		1						
(株)CTIウイング				1	1	ユニチカ(株)			1		1						
ジェアール東海コンサルタンツ(株)				1	1	(株)LIXIL			1		1						
JFEシビル(株)				1	1	(株)Link-U		1			1						
(株)島精機製作所	1	1			2	小計	20	24	24	25	93	進学計	13	16	16	4	49
ショーボンド建設(株)				1	1	[その他]						HAL大阪	1				1
スガイ化学工業(株)			1		1	国土交通省					1	1					
住友精化(株)			1		1	和歌山県					2	2					
住友電気工業(株)		1			1	大阪市					1	1					
ダイキンエアテクノ(株)				1	1	海南市					1	1					
ダイキン工業(株)	1		1		2	御坊市					1	1					
大成建設(株)				1	1	田辺市					1	1					
(株)竹中土木				1	1	(一社)近畿建設協会					1	1					
中外製薬工業(株)			1		1	(独)国立高等専門学校機構					1	1					
築野食品工業(株)			1		1	小計	0	0	0	9	9	その他計	2	2	0	1	5
テルモ(株)	1				1	就職計	20	24	24	34	102	就職・進学合計	35	42	40	39	156
電源開発(株)				1	1												
東海旅客鉄道(株)	1	1		1	3												
東急電鉄(株)				1	1												
東京ガス(株)		1			1												

〈専攻科進路〉

2020年度の専攻科修了生の進路は企業等への就職が68パーセント、大学院研究科への進学が32パーセントでした。

専攻科修了生進学先一覧

大学院進学先	年度	2018		2019		2020	
		メカ	エコ	メカ	エコ	メカ	エコ
横浜国立大学大学院					1		
長岡技術科学大学大学院			1			1	
東京大学大学院			1		1		1
東京海洋大学大学院			1				
京都大学大学院			2		1		
大阪大学大学院				2	1		1
神戸大学大学院			2	1	2		
和歌山大学大学院						1	
奈良先端科学技術大学院大学			1				2
九州工業大学大学院				1			
岡山県立大学大学院						1	
合計		0	8	4	6	3	4

専攻科修了生就職先一覧

就職先	年度	2018		2019		2020	
		メカ	エコ	メカ	エコ	メカ	エコ
旭化成(株)			1				
(株)エヌ・ティ・ティネオメイト				1			
(株)大阪ソーダ					1		
大阪油化工業(株)							1
大塚化学(株)					1		
(株)奥村組							1
花王(株)	1					1	
(株)カネカ					1		
川崎重工業(株)	1						
関西エアポートテクニカルサービス(株) (旧・新関西国際空港エンジニアリング(株))			1		1		
キリンビール(株)							1
サントリースピリッツ(株)	1						
ジャパンマリンユナイテッド(株)				1			
(株)ジュピターテレコム	1						
住友精化(株)					1		
住友電気工業(株)				1			
セイカ(株)			1				
星光PMC(株)							1
ダイハツ工業(株)				1			
太洋工業(株)						1	
寺崎電気産業(株)	1						
日鉄物流(株)				2			
パナソニック(株)アプライアンス社						1	
阪神高速技術(株)						1	
(株)ファインディックス	1						
深江化成(株)							1
三井化学(株)大阪工場			1				
三菱電機(株)冷熱システム製作所						1	
(株)明治関西工場	1						
森永乳業(株)						1	
(株)薬師真珠				1			
(株)Link-U						1	
和歌山県					1		1
和歌山市					1		
海南市							1
加古川市					1		
(一財)雑賀技術研究所							1
その他		1					
合計		8	4	7	8	7	8

外部資金等受入 (2020年度)

1. 科学研究費補助金

科学研究費補助金(科研費)は、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とする国の競争的研究資金で、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。本校では毎年10～20件程度の研究が採択されています。

研究種目	件数	総額(単位:円)
基盤研究(B)	1	1,300,000
基盤研究(C)	9	8,892,000
若手研究	5	7,800,000
奨励研究	1	440,000
計		18,432,000

2. 共同研究

民間企業・公的研究機関などの研究者と本校の教員が、共通のテーマについて対等の立場で行う研究です。民間企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本校を研究の場として行うタイプと共通のテーマについて、本校の教員と民間企業等の研究者が研究を分担し、それぞれの場において研究を進めるタイプがあります。両者のアイデア・意見を交換しながら研究を進めることにより独創的な研究成果が期待できます。

件数	総額(単位:円)
5	5,432,009

3. 受託研究

民間企業・公的研究機関などから委託された課題について委託者の負担する経費を使用して、本校の教員が研究を行い、その成果を委託者に報告します。

件数	総額(単位:円)
6	16,160,000

4. 受託試験

民間企業・公的研究機関などからの依頼に応じて、本校の研究装置を利用して、試験・分析・測定などを行います。委託者からの申請に基づき受け入れを決定し、料金の徴収・試験等を行い、委託者へ試験等の結果を報告します。

件数	総額(単位:円)
0	0

5. 寄附金

学校運営や学科、研究プロジェクト、地域共同テクノセンター等の教育・研究組織または教員個人に対して、教育研究活動支援のために資金・設備などをご提供いただいています。本校の教育研究の充実・発展に重要な役割を果たしています。本校に対する寄附金は、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。

件数	総額(単位:円)
29	14,763,320

6. その他競争的外部資金

- ①受託事業
 - ・紀伊半島の海洋から学ぶSDGs型ジュニアドクター育成プログラム
- ②その他助成金
 - ・未来の技術者を応援する楽しいモノづくり講座
 - ・風水害に伴う地域の浸水被害推計と防災資源の脆弱性評価にもとづく要ケア地域の抽出～わかやまの地域継続性向上をめざして～
 - ・地中炭酸カルシウム沈殿による地下水浄化・金属資源回収システムの開発
 - ・「植物の生産量向上を目的とした温泉水に含まれる遊離炭酸を用いた空気中における二酸化炭素の濃度上昇の実証実験」
 - ・高専をハブとした地域の理科教育連携支援システムの構築
 - ・植物由来酵素型バイオセメントを用いた地下水浄化・金属資源回収技術の開発
 - ・多軸鍛造したアルミニウム合金の焼きなましにおける微視組織および機械的性質の変化(’20)

	件数	総額(単位:円)
①	1	10,000,000
②	7	4,600,000
計		14,600,000

協定等の締結(主なもの)

※締結日付順

産業界	
(公財)わかやま産業振興財団	2016年11月10日
(公財)島財団	2019年10月15日
行政機関等	
和歌山県教育委員会	2012年11月8日
紀の国大学協議会	2016年3月15日
和歌山森林管理署	2016年3月31日
美浜町	2017年6月21日
和歌山県内9機関及びNHK和歌山	2019年3月31日
御坊市	2020年7月29日
御坊警察署(災害等における技術協力)	2021年2月5日
金融機関	
(株)紀陽銀行	2008年3月3日

大学研究機関等	
京都大学工学部	2007年3月28日
京都大学大学院工学研究科	2007年3月28日
和歌山大学システム工学部	2012年3月22日
和歌山大学大学院システム工学研究科	2012年3月22日
大阪大学基礎工学部・大学院基礎工学研究科	2013年9月12日
北陸先端科学技術大学院大学	2014年12月10日
近畿地区7高専	2017年9月1日
早稲田大学大学院情報生産システム研究科	2018年1月25日
鳥羽商船高等専門学校	2018年3月27日
大阪大学工学部・大学院工学研究科	2019年4月25日
神戸大学大学院工学研究科	2019年7月17日
インドネシア アトマジャヤ大学	2019年8月26日
インドネシア スラバヤ工科大学	2019年9月2日
インドネシア ボゴール農科大学	2020年9月18日
上海電機学院	2021年3月22日

学生・教職員の主な受賞一覧 (2018年度～2020年度)

学 生

年度	所属等※	氏名	主催機関・大会等	受賞内容
2018	3C	中嶋 夢生	第1回マリンチャレンジプログラム全国大会	リバネス賞受賞
	3C	宮坂 萌々香		
	3C	猪飼 朋音		
	2E	嶋田 仁	電気化学会第85回大会	奨励賞受賞
	2M	杉山 僚彦	International Conference on Innovation, Engineering and Technology2018(ICIET2018)	「Best Paper Award」受賞
	2E	嶋田 仁	8th INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON MOLECULAR THERMODYNAMICS AND MOLECULAR SIMULATION(MTMS'18)	「Student Poster Presentation Award」受賞
	1E	井元 誠志	4th INTERNATIONAL BIOLOGY CONFERENCE(4thIBOC)	「BEST POSTER PRESENTER」受賞
	5A	CHIN CHING WEN	IRH2018 International Robotics Forum for High School Students	「Best Study Report Award」受賞
	5A	永廣 拓也		
	4A	上村 綜次郎	アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018 全国大会	デザイン賞受賞
	4A	山本 和波		
	1B	白倉 佳司		
	2A	高柳 和生		
	2A	辻浦 才暉		
2A	真田 充			
1B	山田 逸佳			
1B	竹中 翔子			
1E	井元 誠志	第28回MRS年次大会 G-2:全国高専バイオ・マテリアル研究シンポジウム	奨励賞受賞	
1E	八杉 憲彰			
2019	3D	小笠原 伊吹	第24回全国ジュニアゲートボール大会	準優勝
	3D	小田 丈太郎		
	3D	鈴木 義幸		
	3D	露峰 周		
3D	松本 尚大			
3D	水本 涼雅			
3D	湯田 晋右			
1M	角 凌佑	The 4th STI-Gigaku 2019 Conference	「BEST POSTER AWARD」受賞	
1D	河邊 咲葵	第54回全国高専体育大会柔道競技女子個人戦	優勝	
2020	1C	儀間 瑞季	2020年理工系高校生によるプロジェクト	奨励賞受賞
	1C	阿部 志歩		
	1C	藪本 渚彩		
	1C	儀間 瑞季	テクノ愛2020高校の部	健闘賞受賞
	4C	園部 琢巳	テクノ愛2020大学の部	奨励賞受賞
	5C	中嶋 夢生	サイエンスキャッスル研究費	在学製作所賞
	2C	川村 好永	第50回リバネス研究費	incu:be (インキュビー)賞
	5C	中嶋 夢生		
	男子バレーボール部	団体	2020「和歌山おもしろ科学大賞」投稿動画コンテスト	金賞受賞
	2M	永廣 拓也	令和2年度社会実装教育フォーラム	社会実験賞受賞
	5A	大江 悠登		
5A	末永 竜太郎			
5A	谷窪 眞			
5A	山際 慎太郎			
5C	和田 一真	第23回化学工学会学生会大会	優秀賞受賞	

※A:知能機械工学科、B:電気情報工学科、C:生物応用化学科(物質工学科)、D:環境都市工学科、M:メカトロニクス工学専攻、E:エコシステム工学専攻を表す。
 *本一覧は、和歌山工業高等専門学校学生表彰に関する規則に基づき表彰された者の中から抜粋して掲載。

教 職 員

年度	所属等※	氏名	主催機関・大会等	受賞内容
2018	A准教授	津田 尚明	(独)日本学術振興会	ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞受賞
2019	A助教	田邊 大貴	(公社)日本材料学会	優秀講演発表賞受賞
	A助教	田邊 大貴	(一社)日本機械学会2019年度次大会	部門一般表彰(優秀講演論文部門)受賞
2020	D教授	霧巻 峰夫	(公社)土木学会環境システム委員会	環境システム優秀論文賞

※G:総合教育科、A:知能機械工学科、B:電気情報工学科、C:生物応用化学科、D:環境都市工学科を表す。

会 計

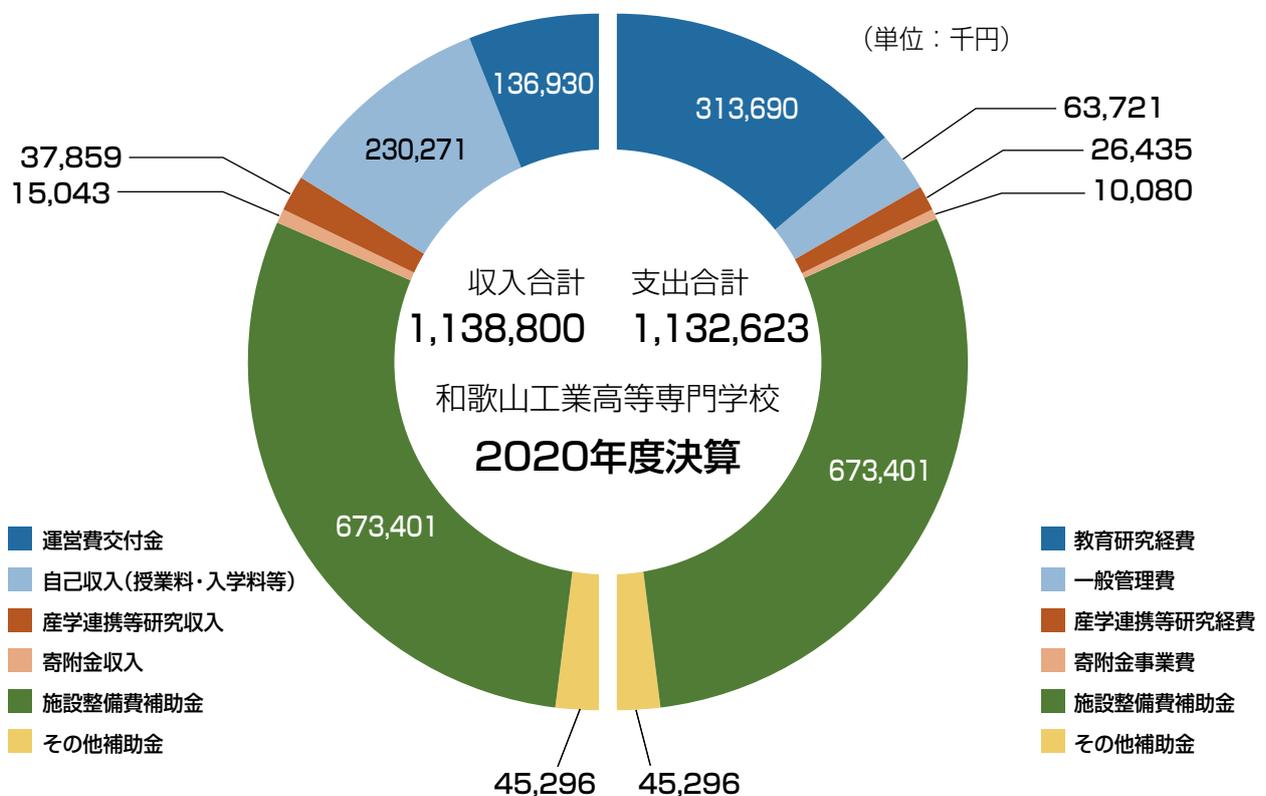
2020年度決算

(単位：千円)

収 入	金 額	%	支 出	金 額	%
運営費交付金	136,930	12.0	教育研究経費	313,690	27.7
自己収入 (授業料・入学金等)	230,271	20.2	一般管理費	63,721	5.6
産学連携等研究収入	37,859	3.3	産学連携等研究経費	26,435	2.3
寄附金収入	15,043	1.3	寄附金事業費	10,080	0.9
施設整備費補助金	673,401	59.1	施設整備費補助金	673,401	59.5
施設費交付事業費	0	0.0	施設費交付事業費	0	0.0
その他補助金	45,296	4.0	その他補助金	45,296	4.0
計	1,138,800	100.0	計	1,132,623	100.0

* 収入および支出の計の差は、産学連携等研究収入および寄附金収入が2020年度の入金額であり、対する支出は前年度からの繰越額を含めた財源からの支出および翌年度への繰越額等が存在するためである。

** 常勤の教職員の人件費は、独立行政法人国立高等専門学校機構本部事務局にて、支出・計上している。



独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

〒644-0023 和歌山県御坊市名田町野島77

代表電話番号 0738-29-2301

FAX 0738-29-8216

Eメール info@wakayama-nct.ac.jp

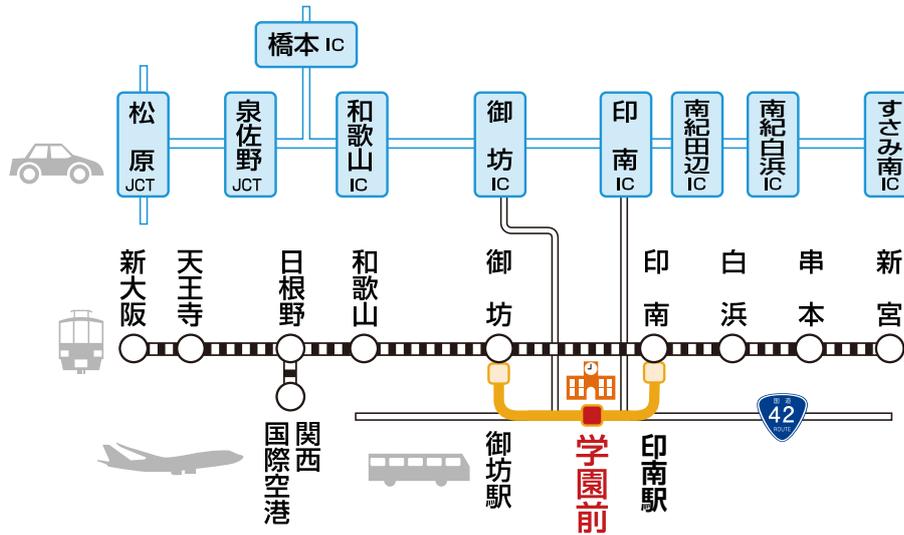
<https://www.wakayama-nct.ac.jp/>

2021年6月発行

DESIGNED by I.D.S inc.

PRINTED by WAKAYAMA PRINTING.co.ltd.

ACCESS



- ◎御坊駅から、熊野御坊南海バスの印南駅行きに乗車、約20分で学園前バス停下車。
- ◎印南駅から、熊野御坊南海バスの御坊駅行きに乗車、約10分で学園前バス停下車。

和歌山工業高等専門学校を支援する企業（教育研究支援基金）

（50音順、令和2年4月～令和3年6月現在）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 紀州技研工業(株) | (株)タニガキ建工 |
| クオリティソフト(株) | 築野食品工業(株) |
| 小西化学工業(株) | デュプロ精工(株) |
| (株)駒井ハルテック和歌山工場 | 南海化学(株) |
| (株)島精機製作所 | (株)日本化学工業所 |
| スガイ化学工業(株) | (株)初山 |
| セイカ(株) | 阪和電子工業(株) |
| (株)第一テック | 三菱電機(株)冷熱システム製作所 |
| 大和歯車製作(株) | |



独立行政法人国立高等専門学校機構

和歌山工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), WAKAYAMA COLLEGE

<https://www.wakayama-nct.ac.jp/>

